

I 日本赤十字社徳島県支部事務局

I 日本赤十字社徳島県支部

I 支部事務局の概要

1 沿革

年 月 日	事 項
明治20. 10. 28	四国の他の3県にさがけ日本赤十字社徳島県委員部として創立、初代委員長に酒井明氏が就任
27. 11. 27	日本赤十字社徳島県委員部は各県に支部制がしかれ、日本赤十字社徳島支部と改称 初代支部長に村上義雄氏が就任
昭和20. 7. 4	徳島本町にあった支部社屋が戦災により焼失し、翌5日北常三島町2丁目の民家を借り業務を開始
22. 9. 27	初の民間人支部長に奥村嘉蔵氏が就任
23. 9. 1	徳島本町の旧敷地内に木造平屋の支部社屋を再建
27. 10. 31	新定款の制定により日本赤十字社徳島県支部と改称
35. 3. 13	徳島市新蔵町1丁目の県有地647.20㎡を借受け、鉄筋コンクリート3階建（一部4階）延面積953.35㎡の支部社屋を建設
42. 1. 6	奥村嘉蔵氏死去により支部長辞任
6. 3	第38代支部長に武市恭信氏が就任
56. 10. 12	武市恭信氏、支部長辞任
13	第39代支部長に三木申三氏が就任
58. 11. 26	徳島市庄町3丁目12-1の県有地3,378.81㎡を借受け、鉄筋コンクリート3階建の本館延面積861.84㎡及び鉄筋平屋建の倉庫及び車庫延面積280.58㎡、合計延面積1,142.42㎡の新社屋建設 ※同県有地内に血液センター社屋及び車庫総延面積2,559.96㎡も同時建設
59. 3. 10	徳島市新蔵町1丁目の旧社屋を解体
62. 11. 25	名誉副総裁三笠宮妃殿下をお迎えして支部創立百周年記念赤十字大会を開催
平成5. 10. 4	三木申三氏、支部長辞任
5	第40代支部長に圓藤寿穂氏が就任
9. 7. 23	皇太子殿下・同妃殿下をお迎えして第33回献血運動推進全国大会を開催
14. 3. 17	圓藤寿穂氏、支部長辞任
18	第40代支部長職務代理に副支部長藤野井親仁氏が就任
5. 22	第41代支部長に大田正氏が就任
15. 5. 29	大田正氏、支部長辞任
6. 4	第42代支部長に飯泉嘉門氏が就任
16. 9. 9	吉野川市鴨島町に赤十字防災センターを設置

年 月 日	事 項
平成19. 12. 6	名誉副総裁高円宮妃殿下をお迎えして支部創立百二十周年記念赤十字大会を開催
23. 9. 8	板東俘虜収容所跡地（鳴門市ドイツ村公園）に「赤十字ゆかりの地モニュメント」を設置
27. 5. 1	支部事務局 1 階玄関ホールに「赤十字展示コーナー」を設置
29. 4. 22 ～ 6. 11	支部創立百三十周年記念展「今に生きる『人道博愛の心』－美術に見る日本赤十字社の歩み－」を徳島県立近代美術館で開催
9. 7	海部郡牟岐町に赤十字南部救護倉庫を設置
12. 6	名誉副総裁寛仁親王妃信子殿下をお迎えして支部創立百三十周年記念赤十字大会を開催
30. 3. 31	吉野川市鴨島町の赤十字防災センターを廃止
4. 24	「とくしま赤十字災害救護サポートセンター」を開所
令和 5. 5. 18	飯泉嘉門氏、支部長辞任
5. 19	第43代支部長に後藤田正純氏が就任

2 組 織

日本赤十字社の組織

(令和6年4月1日現在)



3 役員・評議員

(1) 役員名簿

(令和6年4月1日現在)

役 職 名		氏 名	住 所	備 考
支 部 役 員	支 部 長	後藤田 正 純	徳島市万代町	徳 島 県 知 事
	副支部長	内 藤 佐和子	徳島市幸町	徳 島 市 長
		玉 井 孝 治	板野郡板野町	徳島県町村会長・板野町長
		岡 田 好 史	徳島市西船場2	(株)阿波銀行 相談役
	監査委員	原 孝 仁	鳴門市撫養町	公 認 会 計 士
		川 長 光 男	阿南市柳島町	元徳島県町村会常務理事

本 社 役 員	理 事	川 島 周	徳島市北佐古1	社会医療法人川島会会長 徳島県赤十字有功会副会長
	代 議 員	川 島 周	徳島市北佐古1	社会医療法人川島会会長 徳島県赤十字有功会副会長
		岡 田 好 史	徳島市西船場2	(株)阿波銀行 相談役

(2) 評議員名簿

(任期 令和4年2月14日～令和7年2月13日)

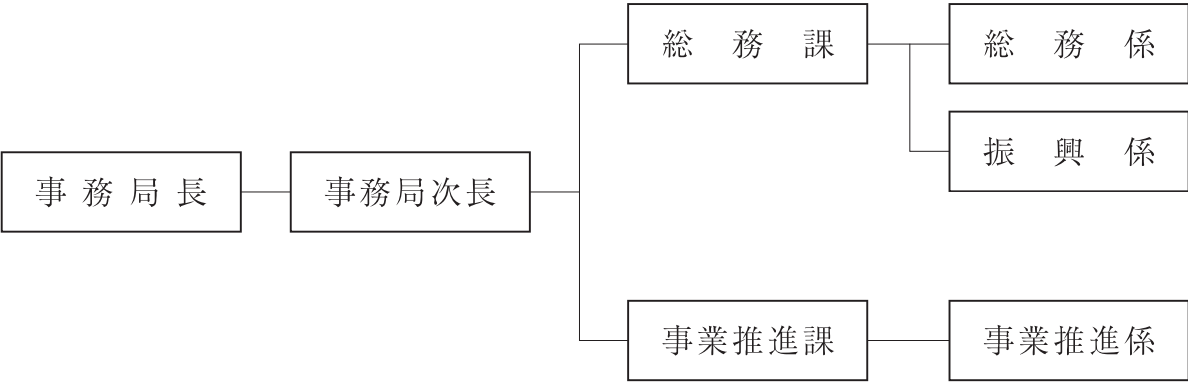
(令和6年4月1日現在)

選出地区名	氏 名	住 所	備 考
徳 島 市	阿 部 和 英	徳島市南末広町	徳島商工会議所会頭
	宇都宮 正 登	徳島市幸町 3	徳 島 市 医 師 会 長
	米 田 豊 彦	徳島市中徳島町 2	徳 島 新 聞 社 長 理 事 会 長
	松 本 侯	徳島市北田宮 1	徳島県歯科医師会長
	板 東 恵 子	徳島市南沖洲	徳島市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
鳴 門 市	泉 理 彦	鳴門市撫養町	鳴 門 市 長
	矢 野 壽美子	鳴門市撫養町	鳴門市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
小 松 島 市	中 山 俊 雄	小松島市横須町	小 松 島 市 長
	竹 島 由美子	小松島市櫛渕町	小松島市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
阿 南 市	岩 佐 義 弘	阿南市富岡町	阿 南 市 長
	紅 露 清 恵	阿南市桑野町	阿南市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
吉 野 川 市	原 井 敬	吉野川市鴨島町	吉 野 川 市 長
	喜 島 寧 子	吉野川市鴨島町	吉野川市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
阿 波 市	町 田 寿 人	阿波市市場町	阿 波 市 長
美 馬 市	加 美 一 成	美馬市穴吹町	美 馬 市 長
三 好 市	高 井 美 穂	三好市池田町	三 好 市 長

選出地区名	氏 名	住 所	備 考
東 部	花 本 靖	勝浦郡上勝町	上 勝 町 長
	河 野 雅 俊	名西郡神山町	神 山 町 長
	吉 田 直 人	板野郡松茂町	松 茂 町 長
	高 橋 英 夫	板野郡藍住町	藍 住 町 長
	松 田 卓 男	板野郡上板町	上 板 町 長
南 部	橋 本 浩 志	那賀郡那賀町	那 賀 町 長
	三 浦 茂 貴	海部郡海陽町	海 陽 町 長
西 部	兼 西 茂	美馬郡つるぎ町	つ る ぎ 町 長
	松 浦 敬 治	三好郡東みよし町	東 み よ し 町 長
支部長選出	長 岡 奨	徳島市西船場 2	徳島県赤十字有功会長 (株)阿波銀行代表取締役会長
	森 口 浩 徳	徳島市万代町 1	徳島県保健福祉部長
	藤 田 育 美	美馬市脇町	赤十字奉仕団徳島県 支 部 委 員 長
	山 川 育 英	名西郡石井町	青少年赤十字徳島県 指 導 者 協 議 会 長
	松 下 大 生	小松島市小松島町	(公社)日本青年会議所四国地区 徳島ブロック協議会長

4 支部事務局

(1) 組 織



(2) 職員の現員（令和6年4月1日現在） 9名

Ⅱ 重 点 事 項

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命に基づき、各種人道活動を展開した。

1 赤十字思想の普及、赤十字会員等・社資（赤十字活動支援費）の増強

(1) 年間を通じた広報活動の強化

交通量の多い幹線道路沿いへの赤十字看板の設置を継続するとともに、行政庁舎への懸垂幕の設置や、四国放送及び県内ケーブルテレビでのスポット CM の放送など、様々な媒体による情報発信を行い、日本赤十字社の使命や、活動原資が赤十字活動支援費であることを広く啓発した。

(2) 「赤十字フラッグキャンペーン」の実施

5 月の赤十字運動月間に、県庁前ヨットハーバー「ケンチョピア」や徳島駅前一番町商店街に赤十字フラッグを掲揚し、赤十字思想の普及に努めた。

(3) 時代に応じた寄付制度の普及・啓発

超高齢社会におけるライフプランに応じた赤十字支援の方法（遺産や相続財産の寄付、御香典からの寄付等）について、関係機関の協力を得ながら積極的な情報発信に努めた。

2 災害救護

(1) 令和 6 年能登半島地震災害における救護活動

災害発生直後から全社を挙げた救護活動を展開し、当支部からは医療救護班や日赤災害医療コーディネートチーム、こころのケア要員を派遣するとともに、当支部オリジナル段ボールベッド等の輸送を行い、被災者支援を行った。

(2) 長期の避難生活を見据えた「食」の支援体制の強化

「赤十字災害用移動炊飯器」で調理可能な「専用鉄板」を各市町村に配備し、長期の避難生活を見据えた地域での「食」の支援体制の充実・強化を図った。

(3) 大規模災害時における避難者支援体制の強化

大規模災害時の長期避難生活において、特に支援が必要な乳児及び要配慮者に特化した当支部オリジナル「段ボールベッド」を地区・分区に追加配備し、避難者支援体制の強化を図った。

3 赤十字救急法等の普及活動

(1) ICT を活用した赤十字講習の推進

重複する講習ニーズに柔軟に対応するために「リモート講習」を推進し、多くの人々に効果的に一次救命処置の知識と技術の普及を図った。

(2) 救急法等の普及活動

心肺蘇生と AED の一次救命処置を中心とした救急法をはじめ、水の事故防止に関する講習や、高齢者・乳幼児に焦点を当てた講習等、対象のニーズに合わせた各種赤十字講習を行い、いのちと健康を守るための知識と技術の向上を図った。

4 赤十字奉仕団活動

(1) 赤十字奉仕団の活性化

地域のニーズに対応した奉仕団活動を広く周知し、新たな奉仕団員を募集するためのチラシを作成・配付するとともに、モデル奉仕団活動等を通して、奉仕団活動の活性化に努めた。

(2) 災害に強い地域づくりへの貢献

当支部が県内各地域に配備している「災害用移動炊飯器」や「専用鉄板」、「災害時活動用テント」を活用した炊き出し訓練等を実施するとともに、地区・分区分へ配備した当支部オリジナル「段ボールベッド」の設営訓練等を行い、地域の防災力の向上に努めた。

(3) 未来を担う青少年への「人道のこころ」の普及

青少年赤十字加盟校の児童・生徒等を対象に、赤十字人道紙芝居「ばんどうのコスモス」の上演活動を通して、未来を担う青少年への「人道のこころ」の普及を図った。

5 青少年赤十字

(1) 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの実施

集団生活を通して、赤十字や青少年赤十字に関する知識や技術を学ぶことにより、自主・自立の精神を身につけたリーダーを養成することを目的として実施した。

(2) 青少年赤十字国際交流事業にかかる海外メンバーの受け入れ

青少年赤十字海外メンバーとの交流を通して、青少年赤十字の実践目標の一つである「国際理解・親善」を促進するとともに、「持続可能な未来に向けた

青少年赤十字活動」というテーマのもと、特に気候変動や平和教育について学びを深めた。

(3) 青少年赤十字の加盟促進等

「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げる青少年赤十字の普及を図るため、未加盟の学校に対し加盟を促進した。

6 国際活動

(1) 「海外救援金」の募集及び「海外たすけあい」キャンペーンの実施

世界各地で多発する紛争や自然災害等による犠牲者・被災者の緊急救援等を行うための「救援金」を募集するとともに、開発途上国赤十字社の行う保健衛生、災害対策事業等の開発協力を行うために「海外たすけあい」募金キャンペーンを実施した。

(2) アジア・大洋州地域に対する給水・衛生活動の支援

日本赤十字社中国・四国各県支部と連携し、アジア・大洋州地域における「給水・衛生キット」の配備をはじめとした給水・衛生活動の支援を行った。

Ⅲ 事業の実施状況

1 赤十字思想の普及、赤十字会員等・社資（赤十字活動支援費）の増強

社資募集をとりまく環境は非常に厳しい状況が続いているが、地区・分区や赤十字奉仕団、赤十字協賛委員、赤十字有功会、各種ボランティア等の協力と会員の支援を得て、次のとおり実績をあげることができた。

(1) 社資募集実績表

項 目		目標額（円）	実績額（円）	達成率（％）
一 般 社 資		139,000,000	122,928,047	88.4
内 訳	社 費	129,000,000	95,813,933	74.3
	寄 付 金	10,000,000	26,716,937	217.2
	指定寄付金	0	397,177	－
法 人 社 資		18,000,000	48,150,392	267.5
内 訳	指定寄付金	2,000,000	2,000,000	100.0
	その他社資	16,000,000	46,150,392	288.4
合 計		157,000,000	171,078,439	109.0

※ 達成率は小数第2位を四捨五入

(2) 地区別社費実績表

年度別 地区名	令和5年度			令和4年度		
	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)
徳島市区 地区	45,393,000	25,143,093	55.4	45,201,000	25,377,050	56.1
鳴門市区 地区	9,361,000	8,296,503	88.6	9,395,000	8,734,716	93.0
小松島市区 地区	6,209,000	1,863,650	30.0	6,225,000	2,025,400	32.5
阿南市区 地区	11,784,000	10,692,019	90.7	11,804,000	10,973,280	93.0
吉野川市区 地区	6,529,000	5,823,320	89.2	6,574,000	5,992,600	91.2
阿波市区 地区	5,761,000	5,033,420	87.4	5,783,000	4,997,150	86.4
美馬市区 地区	4,703,000	3,974,710	84.5	4,708,000	4,051,964	86.1
三好市区 地区	3,997,000	4,337,719	108.5	4,052,000	4,431,652	109.4
東部地区	23,303,000	10,986,366	47.1	23,184,000	12,858,207	55.5
南部地区	4,407,000	4,346,970	98.6	4,479,000	4,461,575	99.6
西部地区	3,553,000	3,773,521	106.2	3,595,000	3,811,036	106.0
その他	4,000,000	11,542,642	288.6	4,000,000	10,995,165	274.9
計	129,000,000	95,813,933	74.3	129,000,000	98,709,795	76.5

※1 達成率は小数第2位を四捨五入

※2 「その他」は日本赤十字社徳島県支部扱いの社費協力

(3) 分区域社費実績表

年度別 地区・分区名		令和5年度			令和4年度		
		目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)
徳島市地区		45,393,000	25,143,093	55.4	45,201,000	25,377,050	56.1
鳴門市地区		9,361,000	8,296,503	88.6	9,395,000	8,734,716	93.0
小松島市地区		6,209,000	1,863,650	30.0	6,225,000	2,025,400	32.5
阿南市地区		11,784,000	10,692,019	90.7	11,804,000	10,973,280	93.0
吉野川市地区		6,529,000	5,823,320	89.2	6,574,000	5,992,600	91.2
阿波市地区		5,761,000	5,033,420	87.4	5,783,000	4,997,150	86.4
美馬市地区		4,703,000	3,974,710	84.5	4,708,000	4,051,964	86.1
三好市地区		3,997,000	4,337,719	108.5	4,052,000	4,431,652	109.4
東 部 地 区	勝浦町分区	813,000	907,800	111.7	814,000	917,200	112.7
	上勝町分区	244,000	259,300	106.3	248,000	264,500	106.7
	佐那河内村分区	349,000	487,700	139.7	344,000	469,100	136.4
	石井町分区	4,233,000	1,974,950	46.7	4,229,000	2,299,250	54.4
	神山町分区	803,000	856,500	106.7	810,000	903,000	111.5
	松茂町分区	2,516,000	1,727,282	68.7	2,505,000	1,866,003	74.5
	北島町分区	4,084,000	1,015,406	24.9	4,027,000	2,182,654	54.2
	藍住町分区	6,193,000	1,372,428	22.2	6,133,000	1,482,800	24.2
	板野町分区	2,168,000	925,800	42.7	2,172,000	1,017,000	46.8
	上板町分区	1,900,000	1,459,200	76.8	1,902,000	1,456,700	76.6
	計	23,303,000	10,986,366	47.1	23,184,000	12,858,207	55.5
南 部 地 区	那賀町分区	1,256,000	1,226,700	97.7	1,278,000	1,224,200	95.8
	美波町分区	1,050,000	1,095,070	104.3	1,071,000	1,150,580	107.4
	牟岐町分区	636,000	761,500	119.7	652,000	717,895	110.1
	海陽町分区	1,465,000	1,263,700	86.3	1,478,000	1,368,900	92.6
	計	4,407,000	4,346,970	98.6	4,479,000	4,461,575	99.6
西 部 地 区	つるぎ町分区	1,327,000	1,409,561	106.2	1,350,000	1,545,796	114.5
	東みよし町分区	2,226,000	2,363,960	106.2	2,245,000	2,265,240	100.9
	計	3,553,000	3,773,521	106.2	3,595,000	3,811,036	106.0
その他		4,000,000	11,542,642	288.6	4,000,000	10,995,165	274.9
計		129,000,000	95,813,933	74.3	129,000,000	98,709,795	76.5

※1 達成率は小数第2位を四捨五入

※2 「その他」は日本赤十字社徳島県支部扱いの社費協力

(4) 年度別社資実績状況

年度	項 目	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達 成 率 (%)
令和元年度	一般社資	139,000,000	131,041,415	94.3
	社費金	129,000,000	105,128,654	81.5
	寄付金	9,000,000	24,837,761	276.0
	法定寄付金	1,000,000	1,075,000	107.5
	法人社資	18,000,000	66,714,750	370.6
	法定寄付金	0	0	—
	その他の社資	18,000,000	66,714,750	370.6
	計	157,000,000	197,756,165	126.0
令和2年度	一般社資	139,000,000	138,379,086	99.6
	社費金	129,000,000	111,769,262	86.6
	寄付金	10,000,000	26,609,824	266.1
	法定寄付金	0	0	—
	法人社資	18,000,000	49,522,081	275.1
	法定寄付金	2,000,000	2,000,000	100.0
	その他の社資	16,000,000	47,522,081	297.0
	計	157,000,000	187,901,167	119.7
令和3年度	一般社資	139,000,000	136,765,146	98.4
	社費金	129,000,000	98,322,798	76.2
	寄付金	10,000,000	38,442,348	384.4
	法定寄付金	0	0	—
	法人社資	18,000,000	40,384,584	224.4
	法定寄付金	2,000,000	2,000,000	100.0
	その他の社資	16,000,000	38,384,584	239.9
	計	157,000,000	177,149,730	112.8
令和4年度	一般社資	139,000,000	157,804,428	113.5
	社費金	129,000,000	98,709,795	76.5
	寄付金	10,000,000	57,228,134	572.3
	法定寄付金	0	1,866,499	—
	法人社資	18,000,000	59,419,563	330.1
	法定寄付金	2,000,000	2,000,000	100.0
	その他の社資	16,000,000	57,419,563	358.9
	計	157,000,000	217,223,991	138.4
令和5年度	一般社資	139,000,000	122,928,047	88.4
	社費金	129,000,000	95,813,933	74.3
	寄付金	10,000,000	26,716,937	217.2
	法定寄付金	0	397,177	—
	法人社資	18,000,000	48,150,392	267.5
	法定寄付金	2,000,000	2,000,000	100.0
	その他の社資	16,000,000	46,150,392	288.4
	計	157,000,000	171,078,439	109.0

※ 達成率は小数第2位を四捨五入

(5) 年間を通した広報活動の強化

① 赤十字看板や懸垂幕による広報

交通量の多い幹線道路沿いへの赤十字看板の設置を継続するとともに、行政庁舎（徳島県東部県税局・藍住町役場）に懸垂幕を設置し、「いのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命と、その活動原資が赤十字活動支援費であることを広く啓発した。

② 地域に根ざした広報活動の展開

赤十字運動月間を中心に、地域の人々が集まる公共施設等に地区・分区、赤十字奉仕団等の協力を得て「赤十字のほり」を設置するとともに、四国放送及び県内ケーブルテレビ局の協力を得てスポット CM を放送するなど、地域に根ざした広報活動を展開した。

(6) 「赤十字フラッグキャンペーン」の実施

5月の赤十字運動月間を中心に、県庁前ヨットハーバー「ケンチョピア」の沿道添いに赤十字フラッグを掲げるとともに、徳島の玄関口である「徳島駅前一番町商店街」に立ち並ぶ20本のポールにバナーフラッグを設置して、赤十字思想の普及を図った。

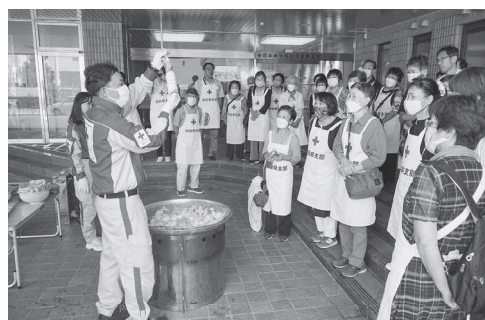


ケンチョピアで実施したフラッグキャンペーン

(7) 赤十字事業説明バス

地域で赤十字活動に深い関わりのある赤十字奉仕団や自治会、町内会等を対象に実施した。

赤十字の仕組みと活動に関する説明や救護倉庫の見学、非常食の炊き出し体験等を行うとともに、板東俘虜収容所跡地に設置



炊き出しの説明を受ける参加者

している「赤十字ゆかりの地」を見学し、赤十字活動への理解促進に努めた。

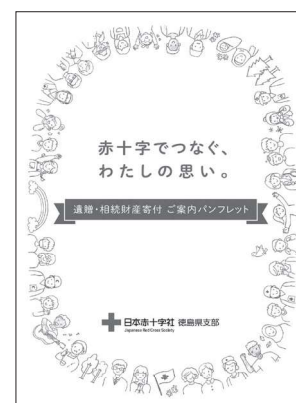
なお、実施状況は次のとおりである。

No.	実施年月日	対 象	参加者数(名)
1	6月30日	吉野川市鴨島（知恵島）婦人会	22名
2	7月11日	吉野川市鴨島地区民生委員児童委員協議会	22名
3	7月12日	昭和婦人会	27名

No.	実施年月日	対 象	参加者数(名)
4	9月12日	那賀町（鷺敷・相生）赤十字奉仕団	23名
5	9月13日	徳島市南井上分区	22名
6	9月19日	鳴門市地区赤十字奉仕団木津分団	32名
7	11月7日	那賀町赤十字奉仕団木沢分団	21名
8	11月17日	徳島市地区勝占分区	24名
9	12月11日	徳島市地区入田分区	29名
計9回			222名

(8) 時代に応じた寄付制度の普及・啓発

超高齢社会を迎え、御香典の寄付や相続財産の寄付、遺贈等の相談が寄せられている中で、ライフプランに応じた赤十字支援の方法について、ホームページでの広報活動を行うとともに、遺贈等について分かりやすく説明したパンフレットを関係機関へ送付するなど積極的な情報発信を行った。



遺贈等について説明したパンフレット

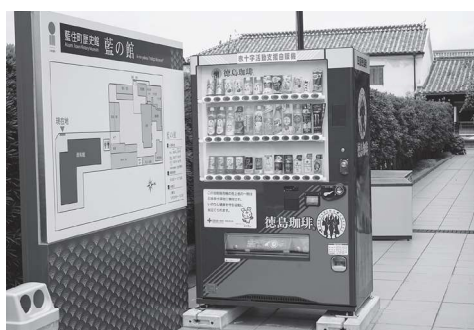
(9) 日本赤十字社功労表彰の実施

長年、赤十字活動に功労のあった方々への顕彰を行い、地域に根ざした赤十字活動の更なる進展を図った。

(10) 企業等と連携した赤十字活動の推進

地区・分区の協力を得て、新たに「赤十字活動支援自動販売機」を設置するとともに、「チャリティーボックス（募金箱）」設置場所の拡充を図り、身近で手軽に赤十字支援ができる環境を整備した。

また、募金箱に活動紹介チラシを貼付するなど、赤十字活動の啓発に努めた。なお、自動販売機の設置状況は次のとおりである。



「藍の館」に設置した支援自動販売機



「徳島県立防災センター」に設置したチャリティーボックス

① 赤十字活動支援自動販売機設置状況

(令和6年3月31日現在)

No.	市町村名	設 置 場 所	No.	市町村名	設 置 場 所
1	徳島市	株式会社阿波銀行 本店	52	小松島市	徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院
2		株式会社阿波銀行 本店	53		徳島赤十字病院
3		株式会社阿波銀行 本店	54		徳島赤十字病院
4		株式会社阿波銀行 本店	55		徳島赤十字病院 工事現場*
5		株式会社阿波銀行 事務センター	56		徳島赤十字病院 工事現場*
6		株式会社阿波銀行 事務センター	57	阿南市	日亜化学工業株式会社
7		株式会社阿波銀行 本店営業部	58		日亜化学工業株式会社
8		阿波銀住友生命ビル*	59		日亜化学工業株式会社
9		あわぎん相談プラザ	60		阿南川島クリニック
10		株式会社阿波銀行 研修所	61		キョーエイ 羽ノ浦店
11		株式会社阿波銀行 研修所	62	吉野川市	本庄公会堂
12		株式会社阿波銀行 福島支店	63		長生町自販機コーナー
13		株式会社阿波銀行 昭和町支店	64		原嘉彦氏所有地
14		株式会社阿波銀行 川内支店*	65		日本フネン株式会社
15		株式会社阿波銀行 徳島北支店	66	松茂町	鴨島川島クリニック
16		株式会社阿波銀行 中洲管理センター	67		株式会社阿波銀行 鴨島支店*
17		株式会社阿波銀行 新町ビル前公園*	68		株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
18		沖洲コミュニティセンター*	69		株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
19		徳島県医師会館	70		株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
20		徳島県医師会館*	71	阿波市	阿波中央バス*
21		キョーエイ 沖浜店	72		有限会社三宅生コン*
22		キョーエイ 山城橋店	73	美馬市	株式会社北岡組
23		キョーエイ 三ッ合橋店	74		株式会社阿波銀行 石井支店
24		ショッピングプラザタクト	75	北島町	徳島阿波おどり空港
25		川島病院	76		株式会社阿波銀行 松茂支店
26		川島病院	77	藍住町	四国化工機株式会社
27		川島透析クリニック	78		キョーエイ 北島店
28		川島透析クリニック	79		株式会社渡辺不動産*
29		川島透析クリニック	80		渡辺不動産サンチュールリップタウン*
30		川島透析クリニック	81		株式会社阿波銀行 北島支店
31		川島透析クリニック	82	板野町	キョーエイ 笠木店
32		川島病院 工事現場*	83		株式会社吉岡組*
33		川島病院 工事現場*	84		稲次整形外科病院
34		社会福祉法人飛鳥	85		かねこみそ株式会社
35		社会福祉法人飛鳥	86	美波町	かねこみそ株式会社
36		社会福祉法人飛鳥	87		かねこみそ株式会社
37		阿波製紙株式会社	88		藍住川島クリニック
38		一般社団法人徳島新聞社	89		藍住川島クリニック
39		徳農種苗株式会社	90		藍住町歴史館 藍の館
40		徳農種苗株式会社	91	美波町	上田食品店
41		高橋利弘氏所有地	92		テック情報株式会社
42		岸化学グループ	93	海陽町	美波町国民健康保険美波病院
43		喜多機械産業株式会社	94		美波町医療保健センター
44		リハビリテーション大神子病院	95	つるぎ町	株式会社丸本
45		日本赤十字社徳島県支部	96		株式会社丸本
46	鳴門市	キョーエイ 鳴門店	97	東みよし町	株式会社丸本ホットフーズ
47		鳴門クルーズサービス有限会社	98		カラオケコスモス*
48	小松島市	日亜化学工業株式会社	99	三好	東みよし町社会福祉協議会
49		徳島赤十字ひのみね医療療育センター	100		三好デイサービスセンターさざんか荘
50		徳島赤十字ひのみね医療療育センター	101		
51		徳島赤十字ひのみね医療療育センター			

※ 網掛けは、令和5年度に設置した支援自販機

※ *印は、一時待避または撤去した支援自販機

2 災害救護体制の充実・強化

令和6年1月1日に発生した能登半島地震災害に対し、日本赤十字社では、災害発生直後から全社をあげて組織的な救護活動を展開し、徳島県支部でも医療救護班等を派遣するなどの救護活動を実施した。

また、今後30年以内に70～80%の確率で発生が懸念されている南海トラフ巨大地震をはじめ、日本各地で激甚化、頻発化する豪雨災害等の自然災害に備え、災害発生直後から慢性期までの医療救護活動が迅速かつ的確に展開できるよう、各種救護訓練や研修等を通して、救護体制の充実・強化に努めた。

(1) 令和6年能登半島地震災害における救護活動

当支部では、所属する中国・四国ブロック（第5ブロック）で切れ目なく被災者支援を行うため、本社の指定する被災地域において、5ブロック管内の各県支部で連携して医療救護班をはじめ、被災地の医療ニーズ等を把握して救護班活動の調整を行う日赤災害医療コーディネートチーム、また被災者のこころのケアを行う要員を派遣した。

また、避難所生活を支援するために当支部独自開発の要支援者用段ボールベッドやエコノミークラス症候群予防のための弾性ストッキング等を輸送した。

① 避難所生活支援物資等の搬送・配付

品 名	配付数	搬送日	備考
徳島県支部オリジナル 要支援者用段ボールベッド（要配慮者用）	30セット	1月9日	救護員2名が、 救護トラックで、 石川県支部まで 輸送
徳島県支部オリジナル 要支援者用段ボールベッド（乳児用）	10セット		
弾性ストッキング （エコノミークラス症候群予防用）	500足		
耐冷手袋（寒冷地での救護用）	600セット	1月16日	



段ボールベッドを石川県支部に搬入する救護員



耐冷手袋の発送準備を行う当支部職員

② 医療救護班の派遣

班	派遣期間	活動場所	活動内容	派遣人数（人）				
				医師	看護師	薬剤師	主事・調整員	計
第1班	令和6年 1月15日 ～1月20日	石川県 七尾市・ 志賀町	・避難所の巡回診療及び 衛生環境改善活動等 ・感染症患者待機施設で の看護・連絡活動（夜間）	3	3	1	3	10
第2班	1月31日 ～2月4日	石川県 七尾市	・避難所の巡回診療	3	3	1	3	10
第3班	2月13日 ～2月17日	石川県 七尾市・ 宝達志水町	・避難所の巡回診療 ・こころのケア活動	1	3	1	3	8
計3班				7	9	3	9	28



避難所で診察を行う救護員



避難者の血圧測定を行う救護員

③ 日赤災害医療コーディネートチームの派遣

班	派遣期間	活動場所	活動内容	派遣人数（人）		
				医師	業務調整員	計
第1班	令和6年 1月10日 ～1月15日	石川県庁	石川県保健医療福祉調整本部 での本部活動	1	2	3
第2班	2月6日 ～2月11日	石川県庁	石川県保健医療福祉調整本部 での本部活動	1	2	3
計2班				2	4	6



避難所の状況等を確認する
日赤災害医療コーディネートチーム



関係機関との会議に参加する
日赤災害医療コーディネートチーム

④ こころのケア要員の派遣

派遣期間	活動場所	活動内容	要員数				備 考
			看護師	公認心理師	主事	計	
令和6年 2月2日 ～2月8日	石川県 志賀町	避難所を巡回して のこころのケア活動	1	0	0	1	第5ブロックの 四国チームの一 員として派遣
3月3日 ～3月9日	石川県 輪島市	被災者及び支援者 支援(輪島市役所・ 輪島病院)	2	1	1	4	
計			3	1	1	5	



避難者の話を傾聴するこころのケア要員



輪島市役所でハンドケアを行うこころのケア要員

(2) 救護班の編成

医師や看護師、薬剤師等で編成する医療救護班をはじめ、災害急性期に活動するための専門的な訓練を受けたDMATや、災害時における心理的苦痛の予防と軽減を図るためのこころのケア指導者の育成、また被災地の保健医療福祉調整本部等で救護活動をコーディネートする「日赤災害医療コーディネートチーム」を編成するなど、有事即応の体制を整えている。

医療救護班等の編成状況は、次のとおりである。

① 医療救護班の編成

(人)

施設名	職種	医師 (班長)	臨床研 修医師	看護 師長	看護師	薬剤師	主事 (自動車操作員 を兼ねる)	福祉 専門職	計
徳島赤十字病院 (5個班)		5	10	5	20	5	5	—	50
徳島赤十字ひのみね 医療療育センター (1個班)		1	—	1	4	1	1	—	8
徳島県赤十字血液センター (1個班)		1	—	1	4	—	2	—	8

施設名 \ 職種	医師 (班長)	臨床研修医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事 (自動車操作員を兼ねる)	福祉専門職	計
徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院	－	－	－	1	－	－	1	2
計 (7 個班)	7	10	7	29	6	8	1	68

(注) 1 個班の編成基準

医 師 1 人 看護師長 1 人 看護師 4 人

薬剤師 1 人 主事 (自動車操作員を兼ねる) 1 人 計 8 人

※徳島赤十字病院は、1 個班あたり 2 名～ 3 名の臨床研修医師を加えて編成

※徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院は、被災地のニーズにあわせ、臨機的に救護班に加わり活動する。

② 日赤徳島 DMAT [災害派遣医療チーム] (3 チーム) (人)

施設名 \ 職種	医 師	看 護 師	業務調整員
日本赤十字社徳島県支部	－	－	1
徳島赤十字病院	4	10	12

(注) 1 チームの編成基準 (基本)

医師 1 人 看護師 2 人 業務調整員 1 人 計 4 人

③ 日赤災害医療コーディネートチーム (2 チーム) (人)

名称 \ 職種	医 師	看護師	事務職員	計
災害医療コーディネーター	2	－	－	2
災害医療コーディネートスタッフ	－	2	5	7

(注) 1 チームの編成基準 (基本)

医師 1 人 看護師・事務職員等 3 人 計 4 人

④ こころのケア指導者 (人)

施設名 \ 職種	看 護 師	公認心理師 臨床心理士	計
徳島赤十字病院	14	－	14
徳島赤十字ひのみね医療療育センター	4	1	5

(3) 各種災害救護訓練・研修等の実施及び参加

救護活動に必要な知識と技術を習得するため、全救護班要員を対象とした救護班要員研修や救護班主事を対象とした実働研修等を実施した。

また、日本赤十字社中国・四国ブロック（第5ブロック）並びに関西ブロック（第4ブロック）災害救護訓練に参加し、各県支部相互の連携体制を強化するとともに、自治体等が主催する訓練等に積極的に参加し、災害対応力の向上に努めた。



第5ブロック救護訓練で、負傷者の手当を行う徳島県支部の救護員

① 支部が主催する救護員に対する研修の実施

開催年月日	名 称	実施場所	参加者(人)
令和5年 4月15日	日本赤十字社徳島県支部救護班要員研修	徳島赤十字 病院	107
6月27日	日本赤十字社徳島県支部救護班要員主事研修	日本赤十字社 徳島県支部	12

② 日本赤十字社本社並びに中国・四国ブロックが実施する訓練及び研修会

開催年月日	名 称	実施場所	参加者（人）	
			支部	施設
令和5年 6月16日 ～17日	日本赤十字社関西ブロック（第4ブロック） 各県支部合同災害救護訓練	兵庫県	1	2
7月8日 ～9日	日赤災害医療コーディネート研修会	本社	－	2
9月23日 ～24日	日赤災害医療コーディネート研修会	本社	－	1
10月11日 ～13日	こころのケア指導者養成講習会	本社	－	1
11月10日 ～11日	日本赤十字社中国・四国ブロック（第5 ブロック）各県支部合同災害救護訓練	愛媛県	3	10
令和6年 3月6日	こころのケア指導者フォローアップ研修	WEB形式	能登半島地震災害 対応のため中止	
3月20日	日赤災害医療コーディネートフォロー アップ研修会	WEB形式	能登半島地震災害 対応のため中止	

③ 他機関が実施する災害救護訓練等

開催年月日	名 称	実施場所	参加者（人）	
			支部等	施設
令和5年 5月28日	吉野川水防演習	美馬市	2	－

開催年月日	名 称	実施場所	参加者（人）	
			支部等	施設
9月1日	徳島県総合防災訓練	海陽町	2	－
令和6年 2月1日	徳島県国民保護共同訓練	阿南市	1	2

④ DMAT 関係訓練・研修への参加

開催年月日	名 称	実施場所	参加者（人）	
			支部	施設
5月22日	徳島 DMAT ロジスティクス研修	徳島県	－	4
5月27日	大規模地震時医療活動訓練事前研修	徳島県	－	6
7月10日	中国四国ブロック DMAT 技能維持研修	岡山県	－	1
7月15日 ～ 16日	四国 DMAT 実働訓練	徳島県	－	20
8月10日 ～ 12日	日本 DMAT 隊員養成研修	香川県	－	1
9月1日	中国四国ブロック DMAT 技能維持研修	高知県	－	1
9月29日 ～ 30日	大規模地震時医療活動訓練	徳島県	－	23
12月6日 ～ 9日	日本 DMAT 隊員養成研修	兵庫県	－	1

(4) 日本赤十字社原子力災害基礎研修会の実施

東日本大震災を踏まえ、救護員が放射線環境下で安全に救護活動が実施できるよう、放射線や原子力災害の医療体制等にかかる基本的知識や、放射線防護資機材の使用方を習得することを目的とした日本赤十字社中国・四国ブロックの原子力災害基礎研修会を当支部で開催した。



島根原子力発電所付近で地震が発生した想定で、対応方法をグループで話し合う救護員

- ① 開催日 令和5年12月4日～5日
- ② 場 所 あわぎんホール
- ③ 参加者 計76名
(救護員50名、講師等26名)

- ④ 内 容 ・ 原子力災害時の対応について
- ・ 放射線測定器の使用方法について
 - ・ 原子力災害時における被災者とのコミュニケーション
 - ・ 原子力災害時の救護活動の安全確保について

(5) 救護物資及び救護資材

南海トラフ巨大地震等の大災害に備え、救護所及び後方支援の拠点として設置する天候万能型フレーム一体式テントをはじめ、赤十字の救護活動を自己完結するための車両として救護員輸送車等を整備している。



牟岐町に設置している南部救護倉庫

また、道路が寸断された災害時にも迅速に活動が展開できるよう、県南部及び西部に設置している救護倉庫に救護資機材等を備蓄している。

更には、原子力災害の発生やその恐れがある場合に対応するためのデジタル個人線量計や防護服セット等、災害対応能力強化を図るための資器材も整備し、災害に備えている。

① 救護装備一覧

(令和6年3月31日現在)

品 名	数 量	品 名	数 量
災害救援車（普通自動車）	4 台	防護マスク	12個
災害救援車（トラック）	1 台	防護服	12着
フレーム一体式テント	2 張	デジタル個人線量計	7 台
エアータント	3 張	防護服セット	7 セット
除染テント	1 張	寝袋	49枚
簡単テント	2 張	敷きマット	28枚
パイプテント	1 張	エア枕	500個
救護所用冷暖房器	3 台	救命胴衣	10着
発電機	5 台	災害用移動炊飯器	4 台
投光器	19台	衛星携帯電話（モバイル）	1 台
医療セット	2 セット	衛星携帯電話（車載）	1 台
初動用医療セット	1 セット	簡易無線機	7 台
折り畳み寝台	21台	業務用無線局（150MHz）基地局	4 台
担架	12本	〃 移動局	10台
担架台	4 組	業務用無線局（400MHz）基地局	1 台
バックボード	4 台	〃 移動局	22台

品 名	数 量	品 名	数 量
ラップ式簡易トイレ	12台	アマチュア無線機	14台
簡易型トイレ	53個	充電式 LED ライト	19台
災害救護用自転車	1 台	折り畳みテーブル	10台
カセットガスストーブ	5 台	ハイブリッド発電機	7 台
スポットクーラー	2 台	弾性ストッキング	1,000足
折り畳みチェア	30脚	段ボールベッド（要配慮者用）	50セット
災害用アルミボート（船外機付）	1 艇	段ボールベッド（乳児用）	50セット
蓄電池（大）	2セット	災害用段ボールトイレ	40個
蓄電池（小）	3セット	非常用トイレセット（袋・凝固剤）	10個

② 南部救護倉庫収納資機材一覧

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

品 名	数 量	品 名	数 量
災害対策用ワンタッチ多目的テント	1 式	ラップ式トイレ専用折り畳み個室	2 個
全方位型 LED 投光器	2 台	簡易型トイレ	10個
発動発電機	2 台	個室型ワンタッチテント	10張
コードリール	2 本	備蓄用長尺トイレトーパー	10ロール
担架	2 本	災害用段ボールトイレ	30個
折り畳み寝台	10台	非常用トイレセット（袋・凝固剤）	10個
テーブル・椅子セット	3セット	ガソリン携行缶	1 個
折り畳みリヤカー	1 台	災害用移動炊飯器	2 台
台車	1 台	カセットコンロ・カセットガス	1セット
ノーパンク折り畳み自転車	1 台	大型やかん	1 個
折り畳み式ホワイトボード	2 台	大型なべ	1 個
トリアージタグ	200枚	毛布	240枚
防水型メガホン	2 台	緊急セット	30セット
防水シート	3 箱	安眠セット	60セット
シャベル	3 本	大判バスタオル	120枚
救助用レンジャーロープ	1 本	タオルケット	120枚
遠赤石油ストーブ	2 台	タオル・石けん	1 箱
保存用飲料水	108ℓ	段ボールベッド	10個
ラップ式移動型トイレ	2 台	間仕切り	10個

③ 西部救護倉庫収納資機材一覧

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

品 名	数 量	品 名	数 量
災害時活動用テント（付属品含）	2 張	ラップ式移動型トイレ（付属品含）	1 セット
災害用移動炊飯器（付属品含）	2 台	災害用段ボールトイレ	30個

品 名	数 量	品 名	数 量
折りたたみ机	4 台	非常用トイレセット(袋・凝固剤)	10個
折りたたみ椅子	16脚	備蓄用トイレットペーパー	1 箱
防水シート	10枚	ライティングシート	2 本
投光器	4 台		

④ 救援物資備蓄状況

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

区 分	前年度 繰越数	県外から の受入数	本年度 購入数	計①	本年度 払出数	その他 払出数	計②	残数 ①－②
毛 布	2,848	0	0	2,848	58	7	65	2,783
緊急セット	1,072	0	0	1,072	36	0	36	1,036
安眠セット	375	0	0	375	0	0	0	375
大判バスタオル	980	0	0	980	0	0	0	980
タオルケット	849	0	0	849	0	0	0	849



毛布



緊急セット



大判バスタオル



安眠セット



タオルケット

(6) 災害用移動炊飯器を活用した炊き出し訓練の実施

県下216カ所の学校や公民館等に配備している災害用移動炊飯器を活用し、赤十字奉仕団等が各地域で炊き出し訓練等を実施し、災害に強い地域づくりや災害への備えを進めるとともに、災害時の食に対する支援体制の充実・強化を図った。



地域で災害用移動炊飯器を活用して、炊き出し訓練を行う地域赤十字奉仕団

① 災害用移動炊飯器設置状況

(令和6年3月31日現在)

No.	地区・分区名	設置場所	No.	地区・分区名	設置場所
1	徳島市	内町コミュニティセンター	31	徳島市	八万中央コミュニティセンター
2		内町小学校	32		夷山緑地
3		出来島公園防災倉庫	33		八万小学校
4		新町公民館	34		八万南小学校
5		西富田コミュニティセンター	35		城南高等学校
6		東富田コミュニティセンター	36		ふれあい健康館
7		昭和コミュニティセンター	37		勝占中部コミュニティセンター
8		徳島市昭和地区猪之津株式会社 昭和倉庫	38		勝占東部コミュニティセンター
9		渭東コミュニティセンター	39		方上公民館
10		渭東コミュニティセンター	40		論田小学校
11		住吉・城東コミュニティセンター	41		多家良中央コミュニティセンター
12		徳島商業高等学校	42		丈六コミュニティセンター
13		徳島中学校	43		上八万地区ボランティアセンター
14		渭北コミュニティセンター	44		上八万小学校
15		佐古コミュニティセンター	45		一宮小学校
16		佐古コミュニティセンター	46		入田コミュニティセンター
17		沖洲コミュニティセンター	47		入田中学校
18		沖洲小学校	48		不動コミュニティセンター
19		津田コミュニティセンター	49		川内町民会館
20		津田中学校	50		川内町民会館
21		津田小学校	51		川内南小学校
22		加茂名コミュニティセンター	52		徳島県赤十字有功会 株式会社キョーエイ本部
23		ショッピングプラザタクト	53		徳島県赤十字有功会 株式会社キョーエイ本部
24		神明神社防災倉庫	54		応神コミュニティセンター
25		若宮神社防災倉庫	55		応神コミュニティセンター
26		喜多機械産業株式会社	56		国府コミュニティセンター
27		加茂コミュニティセンター	57		南井上コミュニティセンター
28		千松小学校	58		南井上コミュニティセンター
29		城西中学校	59		北井上コミュニティセンター
30		八万中央コミュニティセンター	60		北井上コミュニティセンター

No.	地区・分区名	設 置 場 所	No.	地区・分区名	設 置 場 所
61	鳴門市	鳴門市福祉事務所	101	阿南市	大野公民館
62		鳴門市福祉事務所	102		宝田公民館
63		鳴門市婦人会館	103		新野公民館
64		木津地区ふれあい公園防災倉庫	104		福井公民館
65		里浦公民館	105		那賀川公民館
66		里浦小学校	106		徳島県建設業協会阿南支所
67		鳴門西地区防災倉庫	107		中野島総合センター
68		北灘公民館	108		長生公民館
69		堀江公民館	109		富岡公民館
70		堀江公民館	110		阿南市勤労女性センター
71		鳴門東地区コミュニティセンター	111		桑野公民館
72		黒崎集会所	112		加茂谷公民館
73		黒崎集会所	113	吉野川市	鴨島公民館
74		矢倉集会所	114		上浦公民館
75		渦潮ふれあい館	115		西麻植会館
76		瀬戸公民館	116		牛島公民館
77		瀬戸公民館	117		川島公民館
78		島田小学校	118	阿波市	山川地域総合センター
79		北泊公民館	119		阿波市役所
80		明神北集会所	120		阿波市役所 阿波支所
81		日出集会所	121		阿波市役所 土成支所
82		徳島県赤十字有功会 鳴門シーガル病院	122		阿波市役所 吉野支所
83		徳島県赤十字有功会 鳴門シーガル病院	123	美馬市	大俣公民館
84		鳴門公民館	124		大俣公民館
85		川東公民館	125		美馬市総合防災倉庫
86		斎田集会所	126		三島会館
87		折野北条集会所	127		有限会社藤田計夫商店
88		板東南ふれあいセンター	128	三好市	美馬市消防本部
89	小松島市	小松島市役所	129		三好市防災倉庫
90		サウンドハウスホール	130		池田町中央公民館
91		徳島赤十字病院	131		三好市社会福祉協議会
92		徳島赤十字ひのみね医療療育センター	132		三好市社会福祉協議会 三野支所
93		みなと高等学園	133		三好市社会福祉協議会 山城支所
94		立江小学校	134		三好市社会福祉協議会 西祖谷支所
95		新開公民館	135		三好市社会福祉協議会 東祖谷支所
96		櫛渕公民館	136	勝浦町	勝浦町役場
97		JA 東とくしま旧和田島支所倉庫	137		勝浦町農村環境改善センター
98	阿南市	阿南市役所	138		勝浦町福祉センター
99		橘地区防災公園	139	上勝町	勝浦町民体育館
100		ショッピングプラザアピカ	140		旭基幹集落センター

No.	地区・分区名	設 置 場 所	No.	地区・分区名	設 置 場 所
141	上勝町	上勝町社会福祉協議会	179	上板町	上板町社会福祉協議会
142		高鉾公民館	180		高志消防コミュニティセンター
143		福原ふれあいセンター	181		大山消防コミュニティセンター
144	佐那河内村	佐那河内村役場	182		松島消防コミュニティセンター
145		佐那河内村社会福祉協議会	183	那賀町	那賀町役場
146		佐那河内村社会福祉協議会	184		那賀町役場 木沢支所
147		佐那河内小・中学校	185		那賀町役場 木頭支所
148	石井町	石井中学校	186		那賀町平谷出張所
149		高浦中学校	187		平谷小学校
150		石井町社会福祉協議会	188		桜谷小学校
151		石井町地域防災交流センター	189		鷲敷中央公民館
152		平島水防倉庫	190	美波町	南部総合県民局 美波庁舎
153	神山町	神山町社会福祉協議会	191		美波町ストックヤード
154		神山町社会福祉協議会	192		美波町ストックヤード
155		下分公民館	193		美波病院
156	松茂町	松茂町役場	194	牟岐町	木岐聖ヶ丘農林漁業体験施設
157		松茂町役場	195		牟岐町役場 高倉倉庫
158		松茂町津波防災センター	196		牟岐町役場 西山倉庫
159		松茂町社会福祉協議会	197		牟岐町役場 西山倉庫
160		喜来小学校	198		牟岐町役場 西山倉庫
161		徳島阿波おどり空港	199	海陽町	海陽町役場 海部庁舎
162		松茂小学校	200		海陽町役場 海部庁舎
163	北島町	北島町社会福祉協議会	201		海陽町役場 海部庁舎
164		北島町社会福祉協議会	202		海陽町役場 海部庁舎
165		北島町社会福祉協議会	203		株式会社丸本（災害避難場所）
166		北島小学校	204		株式会社丸本（災害避難場所）
167	藍住町	藍住町社会福祉協議会	205	つるぎ町	つるぎ町役場
168		藍住町社会福祉協議会	206		つるぎ町役場
169		藍住東小学校	207		つるぎ町役場
170		藍住西小学校	208		つるぎ町役場 半田支所
171		藍住南小学校	209		つるぎ町役場 一字支所
172		藍住北小学校	210		つるぎ町役場 一字支所
173	板野町	板野町災害対策用備蓄倉庫	211	東みよし町	東みよし町社会福祉協議会
174		板野町社会福祉協議会	212		東みよし町社会福祉協議会
175		板野南小学校	213		東みよし町デイサービスさざんか荘
176		板野西小学校	214		東みよし町デイサービスさざんか荘
177		板野町南公会堂	215		東みよし町デイサービスさざんか荘
178		板野町民ふれあいプラザ	216		東みよし町デイサービスさざんか荘

(7) 災害用移動炊飯器「専用鉄板」の配備

南海トラフ巨大地震等の大災害に備え、「赤十字災害用移動炊飯器」で調理可能な「専用鉄板」を全地区・分区に配備した。「煮る・炊く」中心の炊き出しに「焼き」のエッセンスが加わり、非常食のメニューの幅が広がることで、長期の避難生活を見据えた地域での「食」の支援体制の充実・強化を図った。



災害用移動炊飯器「専用鉄板」を活用して炊き出しを行う地域赤十字奉仕団

① 災害用移動炊飯器「専用鉄板」配備状況

(令和6年3月31日現在)

No.	地区・分区名	設 置 場 所	No.	地区・分区名	設 置 場 所
1	内 町	内町コミュニティセンター	24	鳴門市地区	鳴門市役所
2	新 町	新町公民館	25	小松島市地区	サウンドハウスホール
3	西 富 田	西富田コミュニティセンター	26	阿南市地区	阿南市役所
4	東 富 田	東富田コミュニティセンター	27	吉野川市地区	鴨島公民館
5	昭 和	昭和コミュニティセンター	28	阿波市地区	阿波市役所
6	渭 東	渭東コミュニティセンター	29	美馬市地区	美馬市福祉事務所
7	渭 北	渭北コミュニティセンター	30	三好市地区	三好市役所井川支所
8	佐 古	佐古コミュニティセンター	31	勝 浦 町	勝浦町役場
9	沖 洲	沖洲コミュニティセンター	32	上 勝 町	上勝町社会福祉協議会
10	津 田	津田コミュニティセンター	33	佐那河内村	佐那河内村社会福祉協議会
11	加 茂 名	加茂名コミュニティセンター	34	石 井 町	石井町社会福祉協議会
12	加 茂	加茂コミュニティセンター	35	神 山 町	神山町社会福祉協議会
13	八 万	八万中央コミュニティセンター	36	松 茂 町	松茂町社会福祉協議会
14	勝 占	勝占中部コミュニティセンター	37	北 島 町	北島町社会福祉協議会
15	多 家 良	多家良中央コミュニティセンター	38	藍 住 町	藍住町社会福祉協議会
16	上 八 万	上八万地区ボランティアセンター	39	板 野 町	板野町社会福祉協議会
17	入 田	入田コミュニティセンター	40	上 板 町	上板町社会福祉協議会
18	不 動	不動コミュニティセンター	41	那 賀 町	那賀町役場相生支所
19	川 内	川内町民会館	42	美 波 町	美波町医療保健センター
20	応 神	応神コミュニティセンター	43	牟 岐 町	牟岐町役場
21	国 府	国府コミュニティセンター	44	海 陽 町	海陽町役場海部庁舎
22	南 井 上	南井上コミュニティセンター	45	つるぎ町	つるぎ町役場
23	北 井 上	北井上コミュニティセンター	46	東みよし町	東みよし町社会福祉協議会

(8) 赤十字災害時活動用テントの配備

地域における災害時の炊き出し支援活動や
平時の防災訓練等において、簡単に設営が可
能な折りたたみ式テントを地区・分区に83張
配備している。

赤十字奉仕団や自主防災組織等が、地域の
防災訓練等で活用することにより、地域の災害対応力の向上を図った。



災害時の活動拠点として活用するテントの
組み立て訓練を行う地域赤十字奉仕団等

① 赤十字災害時活動用テント配備状況

(令和6年3月31日現在)

No.	地区	設 置 場 所	No.	地区	設 置 場 所
1	徳島市	内町コミュニティセンター	36	阿南市	見能林公民館
2		新町コミュニティセンター	37		新野公民館
3		西富田コミュニティセンター	38	吉野川市	吉野川市役所
4		東富田コミュニティセンター	39		ふるさとセンター
5		昭和コミュニティセンター	40		川島公民館
6		渭東コミュニティセンター	41		山川地域総合センター倉庫
7		渭北コミュニティセンター	42	阿波市	阿波市大保公民館
8		佐古コミュニティセンター	43		阿波市役所
9		沖洲コミュニティセンター	44		吉野地域福祉センターこすもす
10		津田コミュニティセンター	45	美馬市	美馬市福祉事務所
11		加茂名地区名東3丁目自主防災会防災倉庫	46		美馬市福祉事務所
12		加茂コミュニティセンター	47		美馬市社会福祉協議会
13		八万中央コミュニティセンター	48	三好市	三好市中央公民館
14		勝占中部コミュニティセンター	49		三好市社会福祉協議会
15		多家良中央コミュニティセンター	50	勝浦町	勝浦町民体育館
16		上八万小学校	51		勝浦町農村改善環境センター
17		入田コミュニティセンター	52	上勝町	上勝町旭基幹集落センター
18		不動コミュニティセンター	53		上勝町高鉾公民館
19		川内町民会館	54	佐那河内村	佐那河内村 防災倉庫
20		応神コミュニティセンター	55		佐那河内村災害備蓄倉庫
21		徳島市立考古資料館敷地内防災倉庫	56	石井町	石井町社会福祉協議会
22		南井上コミュニティセンター	57		石井町社会福祉協議会
23		北井上コミュニティセンター	58	神山町	神山町社会福祉協議会
24		鳴門市役所	59		神山町社会福祉協議会
25	鳴門市	鳴門公民館	60	松茂町	松茂町老人福祉センター
26		林崎防災倉庫	61		松茂町老人福祉センター
27		矢倉消防団詰所	62	北島町	北島町社会福祉協議会
28		堀江公民館	63		北島町社会福祉協議会
29	小松島市	サウンドハウスホール	64	藍住町	藍住町福祉センター
30		JA とくしま旧和田島支所倉庫	65		藍住町社会福祉協議会
31		和田島緑地公園倉庫	66	板野町	板野町町民センター
32	阿南市	富岡公民館	67		板野町社会福祉協議会
33		羽ノ浦公民館	68	上板町	上板町社会福祉協議会
34		大野公民館	69		上板町社会福祉協議会
35		長生公民館	70	那賀町	那賀町役場 相生庁舎

No.	地区	設 置 場 所	No.	地区	設 置 場 所
71	那賀町	那賀町役場 相生庁舎	78	つるぎ町	つるぎ町役場
72	美波町	日和佐公民館	79		つるぎ町役場
73		美波町医療保健センター	80	東みよし町	東みよし町社会福祉協議会
74	牟岐町	牟岐町役場 西山倉庫	81		東みよし町デイサービスさざんか荘
75		牟岐町役場 西山倉庫	82	その他	日本赤十字社徳島県支部
76	海陽町	海陽町役場 海部庁舎	83		日本赤十字社徳島県支部
77		海陽町役場 海部庁舎			

(9) 大規模災害時における要支援者支援体制の強化

これまでの東日本大震災や熊本地震等における救護活動の経験を踏まえ、南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害時に、長期にわたる避難所生活において特に支援が必要な要配慮者や乳児を対象とした「赤十字要支援者用段ボールベッド」を12地区・分区へ追加配備し、災害時における地域の要支援者支援体制の充実・強化を図った。



要配慮者用



乳児用

① 災害時要支援者用段ボールベッドの整備数 (令和6年3月31日現在)

No.	地区・分区名	設 置 場 所	配備年度	配 備 数	
				要配慮者用	乳児用
1	—	日本赤十字社徳島県支部	令和2年度	50	50
2	徳島市地区	旧徳島市社会福祉センター分館	令和4年度	10	10
3	鳴門市地区	トリーデなると	令和3年度	10	10
		鳴門市人権福祉センター	令和5年度	5	5
4	小松島市地区	サウンドハウスホール	令和3年度	10	10
			令和5年度	5	5
5	阿南市地区	阿南市役所 防災倉庫	令和3年度	10	10
		阿南ひまわり会館	令和5年度	5	5
6	吉野川市地区	川島かもめこども園	令和4年度	10	10
7	阿波市地区	大俣公民館	令和4年度	10	10

No.	地区・分区名	設 置 場 所	配備年度	配 備 数	
				要配慮者用	乳児用
8	美馬市地区	穴吹農村環境改善センター	令和4年度	10	10
9	三好市地区	三好市社会福祉協議会 本所	令和4年度	1	1
		池田第一中学校	令和4年度	3	7
		三好市社会福祉協議会 西祖谷支所	令和4年度	3	1
		三好市社会福祉協議会 東祖谷支所	令和4年度	3	1
10	勝 浦 町	生名希望の広場 防災倉庫	令和3年度	5	5
11	上 勝 町	上勝町コミュニティセンター	令和3年度	5	5
12	佐那河内村	佐那河内村防災倉庫	令和3年度	5	3
		佐那河内村多目的地域交流施設	令和5年度	5	3
13	石 井 町	石井町備蓄倉庫	令和4年度	5	5
14	神 山 町	神山町社会福祉協議会	令和3年度	5	5
		神山町役場防災倉庫	令和5年度	5	5
15	松 茂 町	松茂町老人福祉センター松鶴苑	令和3年度	5	5
			令和5年度	5	5
16	北 島 町	北島町社会福祉協議会	令和3年度	5	5
		北島町中央地区学習等供用施設	令和5年度	2	2
		北島町南部地区学習等供用施設	令和5年度	2	1
		北島町北部地区学習等供用施設	令和5年度	1	2
17	藍 住 町	藍住町総合文化ホール	令和4年度	5	5
18	板 野 町	板野町防災ステーション	令和4年度	5	5
19	上 板 町	上板町社会福祉協議会	令和4年度	5	5
20	那 賀 町	延野体育館	令和4年度	3	3
			令和5年度	2	2
21	美 波 町	美波町防災備蓄倉庫	令和3年度	5	5
		美波町北河内水防倉庫	令和5年度	5	0
22	牟 岐 町	中村地域活性化センター	令和3年度	5	5
			令和5年度	5	5
23	海 陽 町	海陽町役場海部庁舎	令和3年度	3	5
			令和5年度	2	2
		海陽町役場突喰庁舎	令和5年度	3	3
24	つ る ぎ 町	貞光中学校	令和4年度	5	5
25	東みよし町	旧三好学校給食センター	令和4年度	5	5
合 計				258	251

※ゴシック体は、令和5年度に配備した市町村（地区・分区）

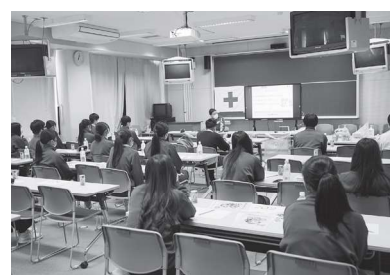
② 赤十字要支援者用段ボールベッド設営訓練実施状況

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
加茂名婦人会	20	石井町中村自治防災会	30
新町婦人会	25	三好市社会福祉協議会	50
三野婦人会	50	吉野川市地区赤十字奉仕団 山川（川田中部）分団	30
三好市社会福祉協議会	50	鳴門市地区赤十字奉仕団 鳴門西分団	200
昭和婦人会	26	計 9 回	481

(10) 地域における防災・減災事業の推進

過去の災害の教訓や当支部の救護活動の経験を通して、今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震等の大規模災害から、いのちを守り被害を最小限に抑えるために、災害や防災についての考え方、平時の備えについて啓発を図る「防災セミナー」を学校や地域において実施した。



高校生を対象とした「防災セミナー」

また、高校生を対象に「自助」の大切さを学ぶ一環として、災害に備えて家の中の安全対策について考え、共有する機会を設けた。

なお、実施状況は、次のとおりである。

① 講習実施状況

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
吉野川市婦人会	59	池田支援学校美馬分校	50
名西高等学校	98	阿波市子育て支援センターあおぞら	20
佐那河内中学校	20	とくしまあいランド推進協議会	22
小松島市地区赤十字奉仕団新開分団	41	藍住町社会福祉協議会	45
徳島市地区赤十字奉仕団東富田分団	25	吉野川市地区赤十字奉仕団山川(山瀬)分団	50
一字地区婦人会	20	とくしまあいランド推進協議会	15
応神コミュニティセンター	54	吉野川市婦人団体連合会	29
名東町一丁目町内会	59	川島婦人会	30
とくしまあいランド推進協議会	30	平島学童保育クラブ	20
徳島県赤十字アマチュア無線奉仕団	13	計 19 回	700

(11) 臨時救護の状況

新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベント等が制限される中で、屋外行事やスポーツ競技のサポートを中心に行った。

回数	派遣人数
5 回	10人

(12) 赤十字小規模災害見舞金等交付状況

県内で発生した災害により死亡または行方不明、もしくは住家が全焼（壊）・半焼（壊）・流失・床上浸水の被害をうけた住民に対し、次の基準により見舞金品を交付した。

① 交付基準

被害別	区分	見舞金 (弔慰金)	毛 布	緊急セット
死 亡 行 方 不 明		30,000円		
全 焼 全 壊 流 失		20,000円	1 人に 1 枚	1 世帯に 1 個 (3 人まで) 1 世帯に 2 個 (4 人以上)
半焼・半壊		10,000円		1 世帯に 1 個
床 上 浸 水				

(注) 小規模災害に対する赤十字見舞金品交付要領に基づく。(災害救助法が適用される場合及び自己放火の火災については除く。)

② 市町村別交付状況

区 分		死 亡 行方不明 (件)	全焼・全壊 世帯件数 (件)	半焼・半壊 世帯件数 (件)	床上浸水 世帯件数 (件)	見舞金等交付状況		
						見舞金 (円)	毛 布 (枚)	緊急セット (個)
市 地 区	徳 島 市 地 区	1	11	3	0	260,000	21	14
	鳴 門 市 地 区	2	3	0	0	120,000	6	4
	小松島市地区	0	2	1	0	40,000	0	3
	阿 南 市 地 区	0	1	0	0	20,000	0	1
	吉野川市地区	0	1	0	0	20,000	3	1
	阿 波 市 地 区	1	3	0	0	70,000	3	2
	美 馬 市 地 区	0	0	1	0	10,000	5	1
	三 好 市 地 区	1	2	0	1	70,000	4	2
	市 地 区 計	5	23	5	1	610,000	42	28

区 分		死 亡 行方不明 (件)	全焼・全壊 世帯件数 (件)	半焼・半壊 世帯件数 (件)	床上浸水 世帯件数 (件)	見舞金等交付状況		
						見舞金 (円)	毛 布 (枚)	緊急セット (個)
東 部 地 区	勝 浦 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	上 勝 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	佐那河内村分区	0	0	0	0	0	0	0
	石 井 町 分 区	1	1	0	0	50,000	0	0
	神 山 町 分 区	0	1	0	0	20,000	1	1
	松 茂 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	北 島 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	藍 住 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	板 野 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	上 板 町 分 区	0	2	0	0	40,000	7	3
	計	1	4	0	0	110,000	8	4
南 部 地 区	那 賀 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	美 波 町 分 区	0	1	0	0	20,000	2	1
	牟 岐 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	海 陽 町 分 区	0	1	0	0	20,000	2	1
	計	0	2	0	0	40,000	4	2
西 部 地 区	つ る ぎ 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	東 み よ し 町 分 区	0	0	1	0	10,000	4	2
	計	0	0	1	0	10,000	4	2
町 村 分 区 計		1	6	1	0	160,000	16	8
合 計		6	29	6	1	770,000	58	36

(13) 国内の災害義援金の受付状況

(令和6年3月31日現在)

区 分	件 数 (件)	受 付 額 (円)
令和5年5月能登地方地震災害義援金	18	219,201
令和5年台風第2号等大雨災害義援金	2	20,133
令和5年6月30日からの大雨災害義援金	3	32,037
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	5	90,000
令和5年台風第6号災害義援金	1	30,000
令和5年台風第13号災害義援金	7	33,690
令和6年能登半島地震災害義援金	1,364	117,727,105
計	1,400	118,152,166

3 赤十字の救急法等の普及活動

「いのちと健康」を守る赤十字の基本理念である「人道」を、具体的な知識や技術として普及し、県民が健康で安全な日常生活を送るとともに、いざ不測の事態が起こった際には、迅速に手当を実践することで、尊い「いのち」が救われるよう、県内各地で赤十字講習を開催した。

(1) 救 急 法

地域等での集合形式での講習に加え、学域における夏休み前などの重複する講習ニーズ等に柔軟に対応するために、従来の対面型に加え、ICTを活用した「リモート講習」を実施し、多くの人々に効果的に一次救命処置の知識と技術の普及を図った。



リモートによる心肺蘇生実技訓練

① 講習実施状況

ア. 基礎講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
日本赤十字社徳島県支部 一般対象①	12	12
日本赤十字社徳島県支部 一般対象②	11	11
日本赤十字社徳島県支部 一般対象③	19	19
徳島赤十字ひのみね医療療育センター 職員対象①	10	10
徳島赤十字ひのみね医療療育センター 職員対象②	10	10
徳島赤十字病院 職員対象①	22	22
徳島赤十字病院 職員対象②	21	21
徳島県警察学校 学生対象①	21	21
徳島県警察学校 学生対象②	23	23
日本スイミングクラブ協会四国支部	14	14
徳島文理大学 学生対象	28	28
四国大学 学生対象①	10	10
四国大学 学生対象②	9	9
計 13 回	210	210

イ. 救急員養成講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
日本赤十字社徳島県支部 一般対象①	12	12
日本赤十字社徳島県支部 一般対象②	10	10
日本赤十字社徳島県支部 一般対象③	17	17
徳島赤十字ひのみね医療療育センター 職員対象①	10	10
徳島赤十字ひのみね医療療育センター 職員対象②	10	10
徳島赤十字病院 職員対象①	22	22
徳島赤十字病院 職員対象②	20	20
徳島県警察学校 学生対象①	21	21
徳島県警察学校 学生対象②	23	23
徳島文理大学 学生対象	29	29
四国大学 学生対象①	10	10
四国大学 学生対象②	9	9
計 12 回	193	193

ウ. 短期講習（集合型）

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
北 島 中 学 校	45	立 江 小 学 校	14
徳 島 県 立 視 覚 支 援 学 校	50	児 安 小 学 校	30
鳴門教育大学附属支援学校	28	柿 原 小 学 校	50
東みよし町社会福祉協議会	39	上 勝 里 山 ク ラ ブ	12
徳 島 文 理 大 学	33	板 野 東 小 学 校	90
南 井 上 小 学 校	17	平 島 小 学 校	40
徳島市地区赤十字奉仕団一宮分団	40	中 野 島 小 学 校	20
鷺 敷 婦 人 会	30	北 小 松 島 小 学 校	70
横 瀬 小 学 校	59	鳴 門 高 等 学 校	60
徳 島 市 立 高 等 学 校	41	大 野 小 学 校	150
徳 島 河 川 国 道 事 務 所	31	鳴門教育大学附属小学校	25
徳 島 文 理 大 学 薬 学 部	60	徳 島 大 学	9
黒 崎 小 学 校	88	吉 野 川 高 等 学 校	22
中 川 産 業	20	小松島市学童保育連絡協議会	25
上 勝 小 学 校	42	吉 野 中 学 校	159
三 和 電 業	103	日本フネン市民プラザ	10
新 開 小 学 校	65	徳 島 空 港 ビ ル	30
小 松 島 小 学 校	35	南 小 松 島 小 学 校	80
八 万 小 学 校	40	徳 島 山 と 友 の 会	29

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
城南高等学校	80	松茂中学校	113
長生小学校	23	市場中学校	76
阿南市養護部会	30	南部地区牟岐町赤十字奉仕団	60
北灘町宿毛谷地区	50	小松島市危機管理課	150
あいずみスポーツクラブ	35	東部地区勝浦町赤十字奉仕団	100
小松島中学校	20	徳島県歯科医師会	38
応神コミュニティセンター	24	鳴門高等学校	90
鴨島児童館	51	徳島県水泳連盟	20
障がい者就労支援施設	10	飯尾敷地自主防災会	200
鳴門教育大学附属幼稚園	56	徳島大学人と地域共創センター	40
山城中央区住民福祉協議会	100	とくしまあいランド推進協議会	14
徳島県教育委員会体育健康安全課	5	阿波市婦人会	60
徳島県林業スマート課	20	徳島県産業資源循環協会青年部会	25
徳島県柔道連盟	20	上勝里山クラブ	10
富田小学校	17	羽ノ浦公民館	22
徳島児童ホーム	30	神山町農村環境改善センター	19
徳島県経済産業会館管理組合	20	計 72 回	3,436
昼間婦人会	17		

エ. 短期講習（オンライン講習）

(人)

開催日	対 象 ・ 主 催 等	受講者数	開催日	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
5月25日	宝田小学校	17	6月29日	山口小学校	20
	御所小学校	1		助任小学校	45
	三好市社会福祉協議会東祖谷支所	2		市立川島中学校	15
6月1日	松茂町社会福祉協議会	35		沖洲小学校	40
	板野高等学校	8		相生小学校	30
6月8日	津乃峰小学校	13	7月6日	三好市社会福祉協議会東祖谷支所	2
	知恵島小学校	12		上勝中学校	39
	橘小学校	15		東光小学校	17
	横見小学校	12		高川原小学校	24
	学島小学校	15	計 6 回 (18校・3団体)		436
6月15日	上八万中学校	20			
	徳島県立ひのみね支援学校	54			

② 救急法指導員数

職 員	43名	計 95名
ボランティア指導員	52名	

③ 赤十字 AED の設置状況

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

No.	地区・分区名	設 置 施 設 名	No.	地区・分区名	設 置 施 設 名
1	徳島市	日本赤十字社徳島県支部事務局	39	美馬市	美馬市社会福祉協議会
2		徳島市役所	40		西部総合県民局美馬庁舎
3		阿波おどり会館	41	阿波市	阿波市役所
4		内町コミュニティセンター	42		阿波市役所阿波支所
5		西富田コミュニティセンター	43		阿波市交流防災拠点施設「アエルワ」
6		東富田コミュニティセンター	44		吉野保健センター
7		昭和コミュニティセンター	45		土成保健センター
8		渭東コミュニティセンター	46		阿波市土成支所
9		渭北コミュニティセンター	47	三好市	三好市総合体育館
10		佐古コミュニティセンター	48		山城公民館
11		沖洲コミュニティセンター	49		井川町ふるさと交流センター
12		加茂コミュニティセンター	50		三好市西祖谷総合支所
13		八万中央コミュニティセンター	51		三好市三野老人福祉センター
14		勝占中部コミュニティセンター	52		西部総合県民局三好庁舎
15		勝占東部コミュニティセンター	53	勝浦町	勝浦町役場
16		方上公民館	54	上勝町	上勝町役場
17		多家良中央コミュニティセンター	55	佐那河内村	佐那河内村社会福祉協議会
18		応神コミュニティセンター	56	石井町	石井町中央公民館
19		南井上コミュニティセンター	57		石井町社会福祉協議会
20		東部保健福祉局	58	松茂町	松茂町役場
21	鳴門市	鳴門市役所	59	藍住町	藍住町役場
22		鳴門市健康福祉交流センター	60		藍住町保健センター
23	小松島市	小松島市役所	61	板野町	板野町民センター
24	阿南市	阿南市役所	62	上板町	上板町老人福祉センター
25		つばき会館	63	那賀町	南部総合県民局那賀庁舎
26		阿南市文化会館	64	美波町	美波町役場
27		阿南市情報文化センター	65		道の駅ひわさ
28		長生隣保館	66		南部総合県民局美波庁舎
29		福井総合センター	67	牟岐町	牟岐町役場
30		伊島診療所	68	海陽町	海陽町デイサービスセンターさつき荘
31		阿南ひまわり会館	69		海陽町役場 海部庁舎
32		加茂谷総合センター	70		海陽町役場 宍喰庁舎
33		本庄公会堂	71	つるぎ町	つるぎ町役場 一字支所
34		南部総合県民局阿南庁舎	72		つるぎ町就業改善センター
35		南部総合県民局阿南保健所庁舎	73	東みよし町	東みよし町役場
36	吉野川市	吉野川市役所	74		東みよし町老人福祉センター
37		吉野川市役所	75		東みよし町役場三好庁舎
38	美馬市	美馬市地域交流センターミライズ			

(2) 水上安全法

水の事故から命を守るための泳ぎの基本や自己保全、事故防止、また万一、事故が発生した際の救助方法や応急手当の方法についての知識や技術を、感染症対策を実施しながら普及した。



溺者の救助法を学ぶ水上安全法

ア. 救助員養成講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
日 本 赤 十 字 社 徳 島 県 支 部 一 般 対 象	17	17

イ. 短期講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
北 島 北 小 学 校	115
徳 島 県 警 察 学 校	46

① 水上安全法指導員数

職 員	1 名	計 21 名
ボランティア指導員	20 名	

(3) 健康生活支援講習

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、家庭での自立に向けた介護の方法や地域での高齢者支援に役立つ知識・技術の普及を図った。

また、災害時における高齢者の支援方法を中心とした防災講話や座ってできる健康体操等、実技を交えた健康生活支援講習を実施した。

① 講習実施状況

ア. 支援員養成講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
徳 島 赤 十 字 病 院	27	27

イ. 短期講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
入 田 婦 人 会	22	と く し ま 生 協	15
鳴門市地区赤十字奉仕団北灘分団	21	計 3 回	58

② 健康生活支援講習指導員数

職 員	24名	計 34名
ボランティア指導員	10名	

(4) 幼児安全法

乳幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、また、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当などの知識と技術の普及を図るのが幼児安全法講習である。

乳幼児の胸骨圧迫や AED の使用方法を中心とした一次救命処置の実技講習を保育所や幼稚園を中心に行い、幼児安全法の普及に努めた。



乳児の心肺蘇生を学ぶ受講者

① 講習実施状況

ア. 支援員養成講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
日 本 赤 十 字 社 徳 島 県 支 部 一 般 対 象	6	6
徳 島 赤 十 字 ひ の み ね 医 療 療 育 セ ン タ ー	6	6
徳 島 赤 十 字 病 院 職 員 対 象	27	27
四 国 大 学 学 生 対 象	10	10
計 4 回	49	49

イ. 短期講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
鳴門教育大学附属幼稚園	10	こども家庭支援センターひかり	3
みどり保育園	25	徳島県勤労者福祉ネットワーク	20
横須保育所	20	徳島県庁職員厚生課	23
沖浜シーズ認定こども園	15	徳島県教育委員会	16
みのり認定こども園	30	徳島県保育事業連合会	150
みつぼしこども園	16	徳島県勤労者福祉ネットワーク	20
西富田こども園	17	子育て応援広場つるぎっこ	20
田宮シーズ認定こども園	14	みずほ保育園	25

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
看 護 協 会 南 部 ブ ロ ッ ク	3	も と し ろ 認 定 こ ど も 園	9
津 田 保 育 所	20	こまつしま健祥会認定こども園	20
徳島県勤労者福祉ネットワーク	20	計 22 回	516
徳島県勤労者福祉ネットワーク	20		

② 幼児安全法指導員数

職 員	29名	計 57名
ボランティア指導員	28名	

4 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、市町村ごとに組織され、地域に根ざした活動を行う「地域赤十字奉仕団」と社会人や学生により組織されている「青年赤十字奉仕団」、また特定の資格や技能、知識等を活かした活動を行う「特殊赤十字奉仕団」で組織されている。

地域や社会のニーズに対応した奉仕団活動を展開し、活動の見える化を図るとともに、若い世代への活動参画を促進し、奉仕団活動の充実・強化を図った。

種別 \ 区分		団 数 (団)	団 員 数 (人)		
			男	女	計
地 域 赤 十 字 奉 仕 団		23	1,420	25,963	27,383
青 年 赤 十 字 奉 仕 団	青 年 赤 十 字 奉 仕 団	1	18	12	30
	学 生 赤 十 字 奉 仕 団	2	24	30	54
	計	3	42	42	84
特 殊 赤 十 字 奉 仕 団	赤十字救護救援奉仕団	1	36	19	55
	赤十字救急法奉仕団	1	28	67	95
	赤十字水上安全法奉仕団	1	18	3	21
	青少年赤十字賛助奉仕団	1	24	7	31
	赤十字看護奉仕団	1	2	81	83
	赤十字アマチュア無線奉仕団	1	63	4	67
	赤十字船舶奉仕団	1	33	1	34
	赤十字バイク奉仕団	1	71	5	76
計		8	275	187	462
合 計		34	1,737	26,192	27,929

(1) 地域赤十字奉仕団

各市町村の地域赤十字奉仕団活動の充実・強化を図るために、「モデル奉仕団の指定」等を行い、地域に根ざした奉仕活動を行うとともに、美化活動等を通して心豊かな地域づくりや地域福祉に貢献した。

また、奉仕団組織の強化を図るために、奉仕団活動の紹介と団員募集のチラシ等を作成し、各地域で積極的な広報活動を行い、奉仕団員の増強と活動の活性化に努めた。

① 主な奉仕活動

- ア 社員増強に関する活動
- イ 災害救護に関する活動
- ウ 青少年赤十字の普及・育成に関する活動
- エ 献血推進に関する活動
- オ 赤十字の講習等の普及活動
- カ 赤十字病院や施設における奉仕活動
- キ 老人や障がい者の援助活動
- ク 地域の環境美化活動
- ケ 子育て支援活動

② 会 議

開催年月日	名 称	備 考
令和5年 6月1日～6月2日	赤十字奉仕団中央委員会	本社

③ 研 修 会

開催年月日	名 称	備 考
令和5年 11月14日～11月15日	中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	岡山県
令和6年2月28日	地域赤十字奉仕団研修会	徳島市

④ モデル奉仕団の指定

奉仕団活動の充実と活性化を図るため、令和5年度の新規5団と2年目の5団は、地域に根ざした様々な活動を行った。



奉仕団ごとに作成した
オリジナルの募集チラシ

ア 令和4年度～令和5年度指定（2年目5団）

地 区 名	奉 仕 団 名
徳 島 市	徳島市地区赤十字奉仕団一宮分団
鳴 門 市	鳴門市地区赤十字奉仕団木津分団
阿 南 市	阿南市地区赤十字奉仕団那賀川分団
東 部	東部地区藍住町赤十字奉仕団
西 部	西部地区東みよし町赤十字奉仕団

イ 令和5年度～令和6年度指定（1年目5団）

地 区 名	奉 仕 団 名
徳 島 市	徳島市地区赤十字奉仕団加茂分団
小 松 島 市	小松島市地区赤十字奉仕団新開分団
吉 野 川 市	吉野川市地区赤十字奉仕団鴨島（知恵島）分団
吉 野 川 市	吉野川市地区赤十字奉仕団山川（川田中部）分団
南 部 地 区	南部地区美波町赤十字奉仕団



段ボールベッド組立訓練



美化活動



献血推進



防災訓練



子どもたちへの学習支援

⑤ 未来を担う青少年等への「人道のこころ」の普及

第一次世界大戦時に板東俘虜収容所で展開された人道的な史実を描いた赤十字人道紙芝居「ばんどうのコスモス」を活用した人道学習を、青少年赤十字を中心に実施し、



ドイツ館を訪れた青少年赤十字メンバーに紙芝居を披露する地域赤十字奉仕団

未来を担う青少年の心の醸成と「人道のこころ」の普及を図った。

なお、紙芝居の上演状況は次のとおりである。

実 施 内 容	実施回数(回)	参加者数(名)
小学校や地域等での上演活動	5	211
鳴門市内の小学校に対する人道学習支援活動	2	70
県外の赤十字関係団体に対する上演活動	2	51
合 計	9	332

(2) 青年赤十字奉仕団

若い力を集結して各種奉仕活動を展開するために、当支部や中国四国ブロック主催の協議会・研修会に参加するとともに、献血キャンペーンや学内献血、「海外たすけあい」街頭募金活動等を実施した。



「海外たすけあい」街頭募金活動を行う青年赤十字奉仕団

① 会議及び研修会等

開催年月日	行 事 名	場 所 等
令和5年5月13日	青年赤十字奉仕団全国協議会（第1回）	W E B 開催
5月21日	第1回中国四国学生献血推進協議会代表委員会	W E B 開催
6月24日	徳島県青年赤十字奉仕団総会及び研修会	支部事務局
6月25日	第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	W E B 開催
7月22日	第2回中国四国学生献血推進協議会代表委員会	〃
8月24日	全国学生献血推進代表者会議	〃
8月25日	第2回全国学生献血推進実行委員会	東京都
9月23日～24日	第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会	広島県
10月28日～29日	中国四国学生献血推進協議会研修会	〃
令和6年2月23日	青年赤十字奉仕団全国協議会（第2回）	W E B 開催
3月2日	第3回中国四国学生献血推進協議会代表委員会	〃
3月21日	徳島県献血推進協議会	徳島グランヴィリオホテル

② 主要奉仕活動

開催年月日	行 事 名	備 考
令和5年4月23日	春の献血キャンペーン	ゆめタウン徳島
5月6日～7日	マチ★アソビ献血	藍場浜公園

開催年月日	行 事 名	備 考
5月28日	シャレンで！献血キャンペーン	ポカリスエットスタジアム
7月16日	中国四国学生献血統一キャンペーン	ゆめタウン徳島
7月22日～23日	親子で楽しくけんけつ教室2023	血液センター
8月20日	愛の血液助け合い運動×徳島インディゴソックス事前予約会	むつみパーク
12月16日	全国学生クリスマス献血キャンペーン2023	ゆめタウン徳島
12月17日	海外たすけあい募金活動	徳島駅前
通年	学 内 献 血	四国大学、徳島大学常三島キャンパス

(3) 特殊赤十字奉仕団

各特殊赤十字奉仕団が、それぞれの専門的な技術と能力を活かした活動を展開した。



無線の通信訓練を行うアマチュア無線奉仕団

① 会議及び研修等

開催年月日	行 事 名	備 考
令和5年4月22日	救急法奉仕団総会及び研修会	中央テクノスクール
5月24日	青少年赤十字賛助奉仕団総会	支部事務局
6月14日	水上安全法奉仕団総会及び研修会	支部事務局
10月8日	アマチュア無線奉仕団総会及び研修会	支部事務局
11月28日	看護奉仕団総会及び研修会	支部事務局
令和6年3月11日	アマチュア無線奉仕団通信訓練	支部事務局

5 青少年赤十字

青少年赤十字（JRC）は、児童・生徒が赤十字精神に基づき、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切にするとともに、地域社会、国家・世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的としている。

未来を担う青少年赤十字リーダーを養成するための「リーダーシップ・トレーニング・センター」を開催するとともに、青少年赤十字国際交流事業を実施し、海外メンバーとの交流を通して、実践目標の一つである「国際理解・親善」を促進し、青少年赤十字活動の充実と活性化を図った。

(1) 青少年赤十字の加盟促進等

「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げる青少年赤十字の更なる普及を図るため、青少年赤十字未加盟校への加盟を促進し、新たに幼稚園6園が加盟した。

① 徳島県の加盟校数、加盟メンバー数

校種別	加盟校数(校)		加盟メンバー数(名)					
	令和5年度	令和4年度	男		女		計	
			令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
幼稚園	28	23	868	676	846	631	1,714	1,307
小学校	164	166	16,661	15,936	15,687	14,901	32,348	30,837
中学校	84	84	8,352	8,607	8,021	8,365	16,373	16,972
高等学校	35	35	1,075	1,284	959	1,229	2,034	2,513
特別支援学校	12	12	569	347	235	150	804	497
計	323	320	27,525	26,850	25,748	25,276	53,273	52,126

② 令和5年度青少年赤十字加盟校一覧表



令和5年度新規加盟校

令和6年3月31日現在

区分 郡市	幼稚園等	小学校	中学校
徳島市	鳴教大附属・八万・上八万・助任・千松・沖浜シーズ・国府・入田・福島・みのり認定こども園・ <u>西富田こども園</u>	内町・新町・佐古・富田・福島・城東・助任・津田・昭和・沖州・加茂名・加茂名南・八万・八万南・千松・大松・論田・方上・宮井・渋野・不動・上八万・一宮・入田・川内北・川内南・応神・国府・南井上・北井上・鳴教大附属・徳島文理	徳島・城西・富田・城東・津田・加茂名・八万・南部・不動・上八万・入田・川内・応神・国府・北井上・鳴教大附属・徳島文理・城ノ内・しらさぎ
鳴門市		撫養・林崎・桑島・鳴門市第一・里浦・鳴門東・鳴門西・明神・大津西・堀江北・堀江南・板東・黒崎	鳴門市第一・鳴門市第二・鳴門・瀬戸・大麻・大麻広塚分校
小松島市		小松島・南小松島・北小松島・千代・児安・芝田・立江・櫛淵・坂野・和田島・新開	小松島・小松島南
阿南市	大野・富岡・加茂谷・横見・見能林	中野島・横見・富岡・宝田・大野・長生・見能林・津乃峰・桑野・山口・吉井・橋・福井・椿・新野・新野東・今津・平島・羽ノ浦・岩脇・椿泊	阿南・阿南第一・阿南第二・加茂谷・福井・椿町・那賀川・羽ノ浦・富岡東・新野
吉野川市		牛島・森山・飯尾敷地・知恵島・川島・学島・山瀬・鴨島・高越・西麻植	鴨島東・鴨島第一・川島・県立川島・山川
阿波市		御所・土成・久勝・伊沢・林・一条・市場・八幡・大俣・柿原	吉野・土成・市場・阿波
美馬市	木屋平	江原南・江原北・脇町・岩倉・美馬・三島・穴吹・木屋平	江原・脇町・美馬・三島・穴吹・木屋平・岩倉

区分 郡市	幼稚園等	小学校	中学校
三好市		王地・芝生・箸蔵・池田・白地・馬路・三縄・山城・下名・辻・西井川・櫟生・東祖谷	三野・池田・山城・井川・東祖谷・西祖谷
勝浦郡		生比奈・横瀬・上勝	勝浦・上勝
名東郡		佐那河内	佐那河内
名西郡	高原・浦庄・藍畑・高川原・石井	石井・浦庄・藍畑・広野・神領・高川原・高原	石井・高浦・神山
那賀郡		鷺敷・相生・木頭	鷺敷・相生・木頭
海部郡		牟岐・日和佐・伊座利・海部・由岐・海南・穴喰	牟岐・日和佐・由岐・海陽・穴喰・由岐伊座利分校
板野郡	北島・神宅・高志・板野東・板野西・板野南	長原・松茂・喜来・北島北・北島・北島南・藍住北・藍住南・藍住西・藍住東・板野東・板野東大坂分校・板野西・板野南・神宅・東光・松島・高志	松茂・北島・藍住東・藍住・板野・上板
美馬郡		半田・太田・貞光	半田・貞光
三好郡		足代・昼間・加茂・三庄	三加茂・三好

幼稚園28園

小学校計164校

中学校84校

高等学校	城東・城南・城北・城ノ内・徳島北・徳島市立・城西・城西神山分校・科学技術・徳島商業・徳島文理・徳島中央・小松島・小松島西・小松島西勝浦校・富岡東・富岡東羽ノ浦校・富岡西・阿南光・那賀・海部・鳴門・鳴門渦潮・板野・名西・川島・阿波・阿波西・穴吹・脇町・つるぎ・池田・池田三好校・池田辻校・吉野川	35校
特別支援校	聴覚支援・視覚支援・国府支援・池田支援・池田支援美馬分校・鴨島支援・ひのみね・阿南支援・鳴教大附属特別支援・板野支援・みなと・阿南支援ひわさ分校	12校

合計 323校

(2) 会議及び研修会

① 本社主催

開催年月日	行事名	場所
令和5年 5月26日～28日	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	国立オリンピック記念 青少年総合センター
6月30日	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	日本赤十字社本社
11月23日～26日	青少年赤十字国際交流集会 JRC/RCY International Meeting, "Tokyo 2023"	日本赤十字社本社
令和6年 3月22日～26日	青少年赤十字スタディー・センター	山梨県

② 中・四国ブロック主催

開催年月日	行事名	場所
令和5年 11月9日～10日	第5ブロック青少年赤十字指導者協議会長 並びに青少年赤十字事務担当者会議	香川県

③ 支部及び指導者協議会主催

開催年月日	行 事 名	場 所
令和5年5月24日	青少年赤十字指導者協議会総会	支部事務局
7月3日	リーダーシップ・トレーニング・センター事前打合会（高等学校の部）	支部事務局
7月4日	リーダーシップ・トレーニング・センター事前打合会（中学校の部）	支部事務局
7月11日	リーダーシップ・トレーニング・センター事前打合会（小学校の部）	板野東小学校
令和6年3月21日	青少年赤十字徳島県指導者協議会役員会	支部事務局

④ 高等学校 JRC 協議会主催行事

開催年月日	行 事 名	場 所 等
令和5年6月24日	徳島県高等学校青少年赤十字協議会学習会	W E B 開催
11月19日	徳島県高等学校青少年赤十字協議会秋期学習会 「海外青少年赤十字メンバー Welcome Party」	支部事務局



オンライン形式での学習会の様子



海外 JRC メンバーとの交流の様子

⑤ 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

赤十字や青少年赤十字に関する知識や技術を学ぶことにより、自主・自立の精神を身につけたリーダーを養成することを目的として実施した。

台風の影響により小学校の部は中止となったが、中学校及び高等学校の部は2日間のプログラムを実施した。

ア 月日・参加状況

校 種	月 日	参加校数 (校)	参加メンバー (名)	指導者 (名)	特別参加指導者 (名)
中 学 校	令和5年 7月27日～28日	8	21	6	9
高 等 学 校	8月7日～8日	7	13	5	6



ワークショップの様子（中学校の部）



避難所運営ゲーム「HUG」で避難所内の配置を考えるメンバー（高等学校の部）

(3) 国際交流事業の実施

青少年赤十字海外メンバーとの交流を通して、青少年赤十字の実践目標の一つである「国際理解・親善」を促進するとともに、「持続可能な未来に向けた青少年赤十字活動」というテーマのもと、特に気候変動や平和教育について学びを深めた。

① 開催期間

令和5年11月18日（土）～22日（水）

② 受入メンバー

ベトナム赤十字社 青少年赤十字メンバー 2名

③ 内容

11月18日（土）	・ 赤十字施設訪問（日本赤十字社徳島県支部、献血ルームアミコ）
11月19日（日）	・ 徳島県高等学校青少年赤十字協議会秋期学習会 「海外青少年赤十字メンバー Welcome Party」 ・ JRC 加盟校訪問（富岡西高等学校）
11月20日（月）	・ 地域の災害時ロープワーク講習参加（阿波市） ・ 農業体験、うどん作り体験（阿波市） ・ JRC 加盟校訪問（浦庄小学校） ・ 文化体験（藍染め）
11月21日（火）	・ 赤十字施設訪問（徳島赤十字ひのみね医療療育センター、同センター附属乳児院、徳島赤十字病院） ・ 文化体験（阿波おどり）
11月22日（水）	・ JRC 加盟校訪問（鳴門教育大学附属幼稚園、鳴門教育大学附属中学校） ・ 平和学習（鳴門市ドイツ館、鳴門市ドイツ村公園）



校内の防災にまつわるクイズを行う様子
(富岡西高等学校)



交流会でレクリエーションを楽しむ
JRC メンバー (浦庄小学校)



いざという時に備えた日常的な訓練の様子
(鳴門教育大学附属幼稚園)



気候変動の授業でグループワークを行う様子
(鳴門教育大学附属中学校)



救急科医師からドクターカーの説明を受ける JRC メンバー (徳島赤十字病院)



板東俘虜収容所の人道的な史実を学ぶ様子
(鳴門市 赤十字ゆかりの地)

(4) 「青少年赤十字防災教育プログラム」を活用した防災教育の推進

授業ですぐ使える防災教材「まもるいのち ひろめるほうさい」を活用した防災教育プログラムを加盟校で推進し、防災教育を通して「いのちの大切さ」や「思いやる心」を育てるとともに、自分の命や周りの命を守る知識や技術を身に付けた。



「まもるいのち ひろめるほうさい」
を活用した防災教育

(5) 書き損じはがき収集活動実施状況

第29回受付分	受 付 枚 数	5 7 3 枚
	換 金 額	2 8 , 7 5 0 円
	協 力 校	浦庄幼稚園・昭和小学校・方上小学校・上八万小学校・宝田小学校・穴吹高等学校・ひのみね支援学校・鴨島支援学校・鳴門教育大学附属支援学校

(6) 青少年赤十字活動資金（1円玉募金）

受 付 件 数	1 2 件
募 金 額	4 , 2 2 5 円
協 力 校	西富田こども園・加茂名小学校・応神小学校・知恵島小学校・徳島中学校・南部中学校・鳴門教育大学附属中学校・城西高等学校・徳島商業高等学校・板野高等学校・鴨島支援学校・鳴門教育大学附属特別支援学校

※ エコキャップ等換金分を含む

(7) 中古本等買い取りプログラム「キモチと」

換 金 物 品 数	1 1 5 点
換 金 額	4 , 8 4 1 円
協 力 校	富岡西高等学校・鳴門教育大学附属特別支援学校

(8) 青少年赤十字優良児童・生徒表彰状況

校 種 別	学 校 数 (校)	メ ン バ ー 数 (名)
小 学 校	4	7
中 学 校	2	4
高 等 学 校	1 4	1 9
計	2 0	3 0

6 国際活動

世界各地で多発する紛争や自然災害等による犠牲者・被災者等を支援するために、日本赤十字社本社や中国・四国各県支部等と連携した国際活動を展開し、国境や民族、宗教を越えた人道的活動を推進した。

(1) 各種災害救援金及び人道危機救援金の募集

トルコ・シリアやモロッコでの地震災害をはじめ、リビアでの洪水災害における現地の赤十字活動支援を行うために救援金の募集を行った。

また、ウクライナで続いている人道危機や、新たに発生したイスラエル・ガザ人道危機に対しても救援金を募集し、被災者支援を行った。

なお、救援金の受付状況は、次のとおりである。

① 海外救援金の受付状況

区 分	件 数 (件)	受付額 (円)
バングラデシュ南部避難民救援金	1	5,000
ウクライナ人道危機救援金	44	1,296,268
2023年トルコ・シリア地震救援金	53	1,340,671
2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	2	40,000
2023年モロッコ地震救援金	10	70,021
2023年リビア洪水救援金	7	48,897
2023年アフガニスタン地震救援金	3	31,000
イスラエル・ガザ人道危機救援金	16	831,790
計	136	3,663,647

(2) アジア・大洋州地域に対する給水・衛生活動の支援

アジア・大洋州地域では、洪水やサイクロン災害による被害が多く、災害時の給水・衛生活動のニーズが継続している状況にある。

当支部では、本社や中国・四国各県支部と連携して、浄水器やタンク、水質検査キット、簡易トイレ用資材等をセットにした「給水・衛生キット」をアジア・大洋州地域に配備する事業の支援を行った。

これにより、バングラデシュやラオスでの豪雨災害では、訓練を受けたスタッフ等により給水ユニットが迅速に配備され、被害の大きかった地域を中心に安全な飲料水の配給が行われた。



洪水災害時に地域の人々に安全な水を供給するバングラデシュの赤十字ボランティア

(3) 「海外たすけあい」キャンペーンの実施

世界各地で多発する自然災害や地域紛争等による犠牲者の緊急救援、及び開発途上国赤十字社の行う保健衛生、災害対策事業等の開発協力を行うために、12月1日から25日までの間、NHK との共催により海外たすけあい募金キャンペーンを実施した。

令和5年度「NHK海外たすけあい」の実績表

区分	件数(件)	金額(円)	(前年度)(円)	伸び率(%)	区分	件数(件)	金額(円)	(前年度)(円)	伸び率(%)
本 社	17,228	267,129,158	216,819,627	123.2	滋 賀 県	1,424	6,808,480	5,568,322	122.3
北 海 道	2,723	16,223,792	18,453,076	87.9	京 都 府	1,641	10,771,240	11,826,438	91.1
青 森 県	313	3,367,509	3,552,870	94.8	大 阪 府	3,311	39,834,999	30,432,623	130.9
岩 手 県	1,058	7,154,612	5,774,485	123.9	兵 庫 県	2,765	23,983,018	24,768,231	96.8
宮 城 県	1,102	15,419,650	10,108,423	152.5	奈 良 県	686	7,422,994	7,625,448	97.3
秋 田 県	451	3,900,008	3,888,894	100.3	和歌山県	381	5,590,014	6,823,674	81.9
山 形 県	445	2,971,980	3,667,160	81.0	鳥 取 県	219	2,945,104	2,433,641	121.0
福 島 県	906	10,723,821	10,510,324	102.0	島 根 県	1,383	3,247,969	3,294,876	98.6
茨 城 県	1,298	9,047,987	9,926,000	91.2	岡 山 県	613	8,934,286	9,019,185	99.1
栃 木 県	1,972	9,562,828	7,820,849	122.3	広 島 県	2,304	17,125,782	18,856,583	90.8
群 馬 県	502	12,914,730	6,711,596	192.4	山 口 県	1,476	13,701,468	10,288,792	133.2
埼 玉 県	1,910	19,390,551	22,872,531	84.8	徳 島 県	293	5,495,499	4,702,542	116.9
千 葉 県	2,259	26,021,347	21,901,881	118.8	香 川 県	888	5,445,431	4,998,258	108.9
東 京 都	4,107	71,735,329	58,347,679	122.9	愛 媛 県	1,515	8,149,394	8,022,674	101.6
神奈川県	3,554	37,604,515	38,840,301	96.8	高 知 県	719	4,054,102	4,264,939	95.1
新 潟 県	1,630	9,025,510	9,117,881	99.0	福 岡 県	2,813	16,350,353	19,664,568	83.1
富 山 県	970	11,460,695	10,605,844	108.1	佐 賀 県	304	4,983,788	3,709,929	134.3
石 川 県	824	5,855,177	5,550,494	105.5	長 崎 県	376	4,158,911	5,595,394	74.3
福 井 県	627	6,829,098	9,079,906	75.2	熊 本 県	2,374	8,469,818	6,276,873	134.9
山 梨 県	588	5,812,970	7,249,402	80.2	大 分 県	1,231	5,878,345	8,781,463	66.9
長 野 県	2,186	13,023,052	13,560,641	96.0	宮 崎 県	293	2,905,866	3,704,724	78.4
岐 阜 県	1,099	11,973,961	12,444,846	96.2	鹿児島県	735	4,642,631	4,806,414	96.6
静 岡 県	1,214	15,379,246	12,789,806	120.2	沖 縄 県	270	4,421,762	4,768,807	92.7
愛 知 県	5,503	46,033,243	46,871,469	98.2	合 計	84,339	863,841,244	787,088,711	109.8
三 重 県	1,856	9,959,221	10,388,328	95.9					

(参 考)

最近における「NHK海外たすけあい」の最終実績

平成27年度（第33回）715,267,248円

平成28年度（第34回）635,829,119円

平成29年度（第35回）704,476,254円

平成30年度（第36回）756,095,488円

令和元年度（第37回）656,561,824円

令和2年度（第38回）750,388,183円

令和3年度（第39回）720,882,194円

令和4年度（第40回）787,088,711円

Ⅳ 一般会計決算状況

1 総 括

区 分	当初予算額	補正予算額	計	決 算 額	予算額に比し増減
歳 入	218,815,000 ^円	24,056,000 ^円	242,871,000 ^円	243,725,934 ^円	854,934 ^円
歳 出	218,815,000	24,056,000	242,871,000	190,720,795	△ 52,150,205
歳入歳出差引繰越額			53,005,139円		

(1) 歳 入

科 目	令和5年度 決 算 額	令和4年度 決 算 額	増 減	対前年度比
1 支 部 収 入	243,725,934 ^円	282,529,290 ^円	△38,803,356 ^円	86.3%
(1) 社 資 収 入	171,078,439	217,223,991	△46,145,552	78.8
(2) 委 託 金 等 収 入	0	0	0	－
(3) 補助金及び交付金収入	10,291,350	2,410,018	7,881,332	427.0
(4) 繰 入 金 収 入	1,197,899	2,053,999	△856,100	58.3
(5) 雑 収 入	1,011,139	543,658	467,481	186.0
(6) 前 年 度 繰 越 金	60,147,107	60,297,624	△150,517	99.8

(小数第2位四捨五入)

(2) 歳 出

科 目	令和5年度 決 算 額	令和4年度 決 算 額	増 減	対前年度比
1 支 部 費	190,720,795 ^円	222,382,183 ^円	△31,661,388 ^円	85.8%
(1) 災 害 救 護 事 業 費	13,387,570	13,828,639	△441,069	96.8
(2) 社 会 活 動 費	24,399,142	22,164,095	2,235,047	110.1
(3) 国 際 活 動 費	1,155,966	2,578,673	△1,422,707	44.8
(4) 指定事業地方振興費	397,177	1,866,499	△1,469,322	21.3
(5) 地区分区交付金支出	10,127,869	10,717,493	△589,624	94.5
(6) 社 業 振 興 費	27,626,209	22,022,574	5,603,635	125.4
(7) 基盤整備交付金・補助金支出	7,250,000	1,550,000	5,700,000	467.7
(8) 積 立 金 支 出	46,987,306	86,371,484	△39,384,178	54.4
(9) 総 務 管 理 費	30,674,644	27,026,582	3,648,062	113.5
(10) 資産取得及び資産管理費	3,412,723	2,252,521	1,160,202	151.5
(11) 本 社 送 納 金 支 出	25,302,189	32,003,623	△6,701,434	79.1

(小数第2位四捨五入)

2 社会福祉施設特別会計（本部会計拠点区分）決算状況

(1) 総 括

区 分	当初予算額	補正予算額	計	決 算 額	予算額に比し増減
収 入	0 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円

区 分	当初予算額	補正予算額	計	決 算 額	不 用 額
支 出	0 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円

収入支出差引額 0 円

(2) 前期末支払資金残高

前期末支払資金残高	0 ^円
-----------	----------------